

統計調査課資料
統 勞 第 9 2 号
平 成 2 4 年 1 月 刊 行

福島県の推計人口

(福島県現住人口調査年報)

平成 22 年 版

福島県企画調整部統計調査課

はしがき

この報告書は、毎月公表している「福島県の推計人口（福島県現住人口調査月報）」の平成22年分について取りまとめたものです。

平成22年の本県人口は、平成10年から13年連続の減少となりました。

また、全59市町村のうち、55市町村で人口が減少し、会津、阿武隈地域での減少という傾向も引き続きみられました。

本書では、県人口の構造や移動の状況等を総合的に把握することを目的に編集しており、各種行政施策の企画・立案に携わる方々をはじめ、多くの皆様に有効に御利用いただければ幸いです。

終わりに、毎月この調査に御協力をいただいている市町村の皆様に深くお礼申し上げますとともに、今後とも御協力をお願い申し上げます。

平成24年1月

福島県企画調整部長

目 次

I	調査の概要	1
II	利用上の注意	2
III	用語の解説	2
IV	結果の概要	
第1	県人口	
1	総人口及び世帯数	7
2	県人口及び世帯数の推移	7
3	年齢別人口	
(1)	年齢3区分別人口	9
(2)	年齢構造指数の推移	10
4	市町村別人口	
(1)	市町村別人口	12
(2)	年齢3区分別人口比率	12
第2	人口動態	
1	県の人口動態	
(1)	県の人口動態	14
(2)	県の自然動態	15
(3)	県の社会動態	16
2	方部別人口動態	
(1)	方部別人口動態	17
(2)	方部別自然動態	17
(3)	方部別社会動態	18
3	市町村別人口動態	
(1)	市町村別人口動態	18
(2)	市町村別自然動態	20
(3)	市町村別社会動態	20
第3	移動者の状況	
1	月別移動者数	21
2	移動者の従前地及び転出先	
(1)	他の都道府県との移動	22
(2)	方部別状況	23
(3)	市町村別状況	24
3	年齢別移動者数	25
第4	最近10年の人口の推移	26
V	統計表	
第1表	市町村、年齢（5歳階級）、男女別人口（平成22年10月1日現在）	34
第2表	市町村、男女別人口動態（出生・死亡者数、転入・転出者数）（平成22年）	42
第3表	県内市町村間移動者数（平成22年）	46
第4表	市町村別県外（他都道府県、外国）からの転入者数（平成22年）	56
第5表	市町村別県外（他都道府県、外国）への転出者数（平成22年）	62
第6表	市町村別人口（大正9年～平成22年、各年10月1日現在）	68
第7表	市町村別世帯数（大正9年～平成22年、各年10月1日現在）	76
第8表	福島県の人口動態の推移（昭和50年～平成22年）	84

I 調査の概要

1 調査の目的

福島県現住人口調査（以下「調査」という。）は、県の人口及びその移動実態を明らかにし、各種行政施策のための基礎資料を得ることを目的とする。

2 根拠法令等

- (1) 福島県統計調査条例（昭和26年福島県条例第93号）
- (2) 福島県現住人口調査規則（平成12年福島県規則第62号）
- (3) 福島県現住人口調査要綱

3 調査期間

毎月1日から末日までの1月を1単位として、継続して行う。

4 調査対象

- (1) 県外への転出者
- (2) 県外からの転入者
- (3) 県内の市町村間で移動する者のうち転入した者
- (4) 出生者
- (5) 死亡者
- (6) 世帯

5 調査事項

- (1) 県外への転出者に関する事項
 - ア 県外への転出者の数
 - イ 国籍、男女の別、出生の年月及び転出先の住所地
- (2) 県外からの転入者及び県内で移動する者のうち転入した者に関する事項
 - ア 県外からの転入者及び県内の市町村間で移動する者のうち転入した者の数
 - イ 国籍、男女の別、出生の年月及び従前の住所地
- (3) 出生者に関する事項
 - ア 出生者の数
 - イ 国籍、男女の別及び出生の年月
- (4) 死亡者に関する事項
 - ア 死亡者の数
 - イ 国籍、男女の別及び出生の年月
- (5) 世帯数及びその増減の状況

6 推計方法

この調査は、直近の国勢調査による人口及び世帯数を基数とし、これに毎月、出生者の数、死亡者の数、転入者の数、転出者の数及び世帯数の増減を加減することにより推計を行っている。

$$\text{推計人口} = \text{国勢調査人口} + (\text{出生者の数} - \text{死亡者の数}) + (\text{転入者の数} - \text{転出者の数})$$

$$\text{推計世帯数} = \text{国勢調査世帯数} + (\text{世帯数の増加数} - \text{世帯数の減少数})$$

なお、本書中における基数は、時期により異なる。
そのため、平成23年1月1日現在の人口及び世帯数は、平成22年1月1日現在の数値に人口（世帯）動態を加減して得られた数値とは異なる。

平成17年10月1日～平成22年9月1日 = 平成17年国勢調査
平成22年10月1日～平成23年1月1日 = 平成22年国勢調査

II 利用上の注意

- 1 本書は、平成22年1月1日から12月31日までの1年間における調査結果を取りまとめたものである。
なお、本書においては、調査結果の基準日を次のとおりとした。
総人口、年齢別人口、世帯数 …………… 各年10月1日現在
出生者、死亡者、転入者、転出者 …… 各年1月1日から12月31日までの計
- 2 表中に使用した符号は、次のとおりである。
「△」…………… 減少を表す
「0.0」…………… 表示単位に満たないもの
「-」…………… 該当数値がないもの
- 3 諸表の数値のうち、一部の表について、表示単位未満の数値を四捨五入しているため合計と内訳が一致しない場合がある。

III 用語の解説

- 1 自然動態
 - (1) 自然増減 出生者の数－死亡者の数
 - (2) 出生者 出生により住民票に記載され、又は外国人登録原票に登録された者。
 - (3) 死亡者 死亡により住民票が消除され、又は外国人登録原票が閉鎖された者。
- 2 社会動態
 - (1) 社会増減 転入者の数－転出者の数
 - (2) 転入者
県内 県内の他市町村からの転入により住民票に記載され、又は外国人登録原票に登録された者。
県外 県外からの転入又は入国により住民票に記載され、又は外国人登録原票に登録された者。
その他 転入の届けがないこと等により職権で住民票に記載された者のうち従前の住所地が不明な者、日本国籍取得の届出によって住民票に記載された者及び日本国籍喪失による登録申請を受けて外国人登録原票に登録された者。
 - (3) 転出者
県内 県内の他の市町村へ転出した者。本調査では、この数値を転出先の市町村の転入者に関する事項を基に算出している。したがって、福島県における県内転出の総数は県内転入の総数と一致するが、各市町村の県内転出者の数はその市町村において同月期に転出届等のあった実人数とは必ずしも一致しない。
県外 県外又は国外への転出により住民票が消除された者、県外に転出したことにより外国人登録原票を転出先の市町村に送付された者及び出国により外国人登録原票が閉鎖された者。
その他 転出の届けがないこと等により職権で住民票が消除された者のうち転出先が不明な者、日本国籍喪失の届出により住民票が消除された者及び日本国籍取得による登録証明書の返納を受けて外国人登録原票が閉鎖された者。

3 人口動態

人口増減 自然増減＋社会増減

4 県外地方区分

都道府県を次のとおり7地方に区分している。

北海道	北海道
東北	青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県
関東	茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県
中部	新潟県 富山県 石川県 福井県 山梨県 長野県 岐阜県 静岡県 愛知県 三重県
近畿	滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県
中国・四国	鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県 徳島県 香川県 愛媛県 高知県
九州・沖縄	福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県 沖縄県

5 県内方部区分（平成23年1月1日現在）

県内の市町村を次のとおり7方部に区分している。

県北	福島市 二本松市 伊達市 本宮市 桑折町 国見町 川俣町 大玉村
県中	郡山市 須賀川市 田村市 鏡石町 天栄村 石川町 玉川村 平田村 浅川町 古殿町 三春町 小野町
県南	白河市 西郷村 泉崎村 中島村 矢吹町 棚倉町 矢祭町 塙町 鮫川村
会津	会津若松市 喜多方市 北塩原村 西会津町 磐梯町 猪苗代町 会津坂下町 湯川村 柳津町 三島町 金山町 昭和村 会津美里町
南会津	下郷町 檜枝岐村 只見町 南会津町
相双	相馬市 南相馬市 広野町 楡葉町 富岡町 川内村 大熊町 双葉町 浪江町 葛尾村 新地町 飯館村
いわき	いわき市

6 市町村合併

平成16年11月1日	会津若松市（北会津村編入）
平成17年3月1日	田村市（滝根町、大越町、都路村、常葉町、船引町）
平成17年4月1日	須賀川市（長沼町、岩瀬村編入）
平成17年10月1日	会津美里町（会津高田町、会津本郷町、新鶴村）
平成17年11月1日	会津若松市（河東町編入）
平成17年11月7日	白河市（白河市、表郷村、東村、大信村）
平成17年12月1日	二本松市（二本松市、安達町、岩代町、東和町）
平成18年1月1日	南相馬市（原町市、鹿島町、小高町） 伊達市（伊達町、梁川町、保原町、霊山町、月館町）
平成18年1月4日	喜多方市（喜多方市、熱塩加納村、塩川町、山都町、高郷村）
平成18年3月20日	南会津町（田島町、館岩村、伊南村、南郷村）
平成19年1月1日	本宮市（本宮町、白沢村）
平成20年7月1日	福島市（飯野町編入）

IV 結果の概要

第1 県人口

1 総人口及び世帯数

平成22年国勢調査結果による本県の人口と世帯数は、平成22年10月1日現在で2,029,064人、720,794世帯となった。

また、福島県現住人口調査による平成23年1月1日現在の本県の推計人口（以下「人口」という。）と世帯数は、2,027,138人、721,531世帯となった。

表1 男女別人口、世帯数及び1世帯当たりの人員

(単位：人、%)

	人 口			人口性比	世帯数	1世帯当りの人員
	総 数	男	女			
平成22年10月1日現在	2,029,064	984,682	1,044,382	94.28	720,794	2.82
平成21年10月1日現在	(2,042,816)	(991,353)	(1,051,463)	(94.28)	(731,321)	(2.79)
平成23年 1月1日現在	2,027,138	983,827	1,043,311	94.30	721,531	2.81
平成22年 1月1日現在	(2,041,051)	(990,434)	(1,050,617)	(94.27)	(731,700)	(2.79)

(注1) 人口性比＝男性人口÷女性人口×100

(注2) 平成22年1月1日現在の人口及び世帯数は平成17年国勢調査結果に、平成23年1月1日現在は平成22年国勢調査結果に基づく推計による。

そのため、平成23年1月1日現在の人口及び世帯数は、平成22年1月1日現在の数値に人口(世帯)動態を加減して得られた数値とは異なる。

2 県人口及び世帯数の推移

戦前は160万人だった本県の人口は、戦時中の疎開による人口流入や、戦後の海外からの引き揚げ、第1次ベビーブームなどから急増し、昭和32年3月に209万9千7百人とピークを迎えた。その後、昭和35年から45年にかけての高度経済成長期には、首都圏への大幅な人口流出のため人口が減少し続け、昭和47年4月には192万7千9百人となった。

しかし、これを底に首都圏からのUターンや第2次ベビーブームなどから増加に転じ、昭和53年7月には再び200万人台を回復し、平成元年11月には、初めて210万人を超えた。平成10年1月には2,138,454人と現在までの最高値を記録したが、その後は減少に転じ、近年では年々減少幅が拡大している。

一方、世帯数は、戦後ほぼ一貫して増え続けている。

図1 人口及び世帯数の推移(昭和30年～平成22年、各年10月1日現在)

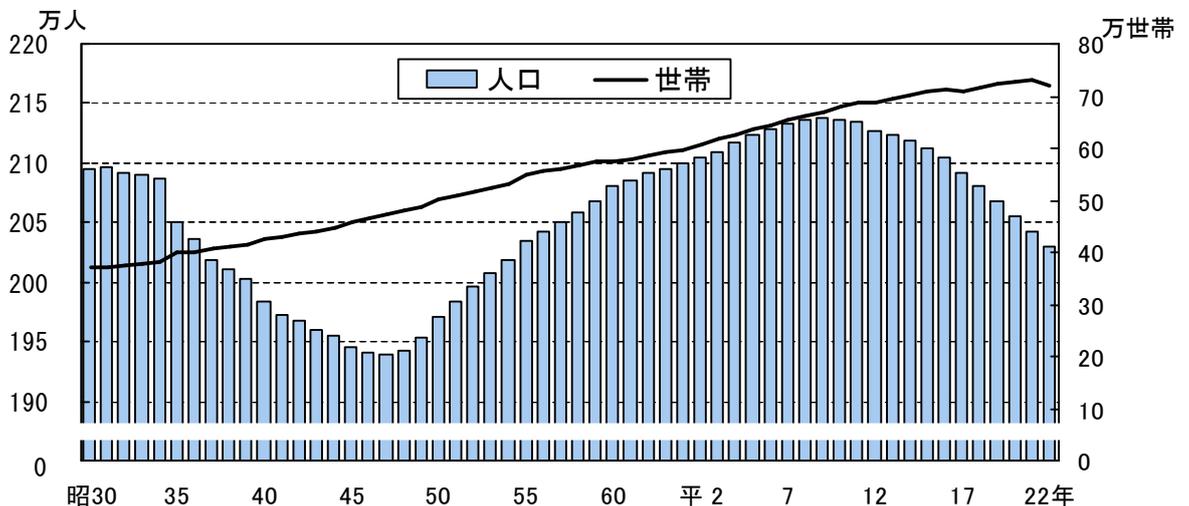


図2 福島県の総人口(H21年1月～H23年1月)

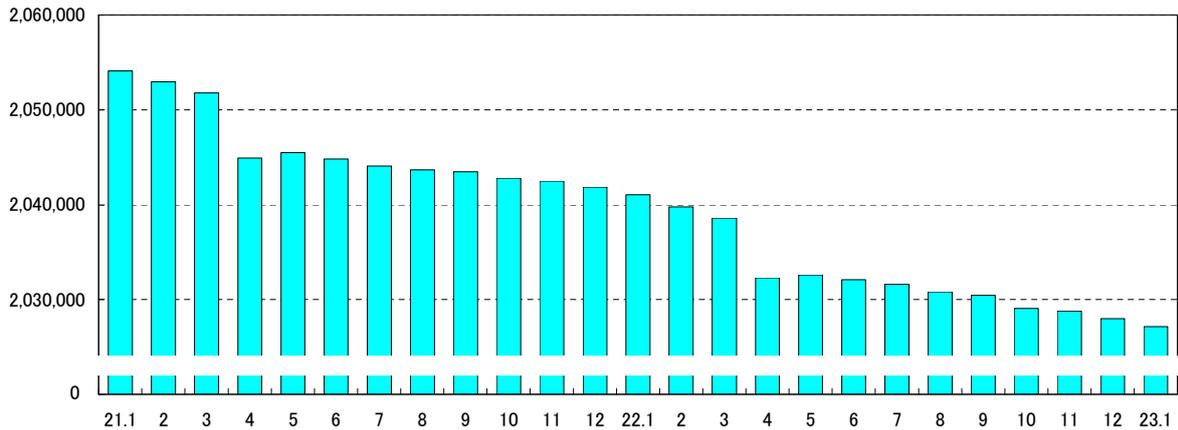


図3 福島県の総世帯数(H21年1月～H23年1月)

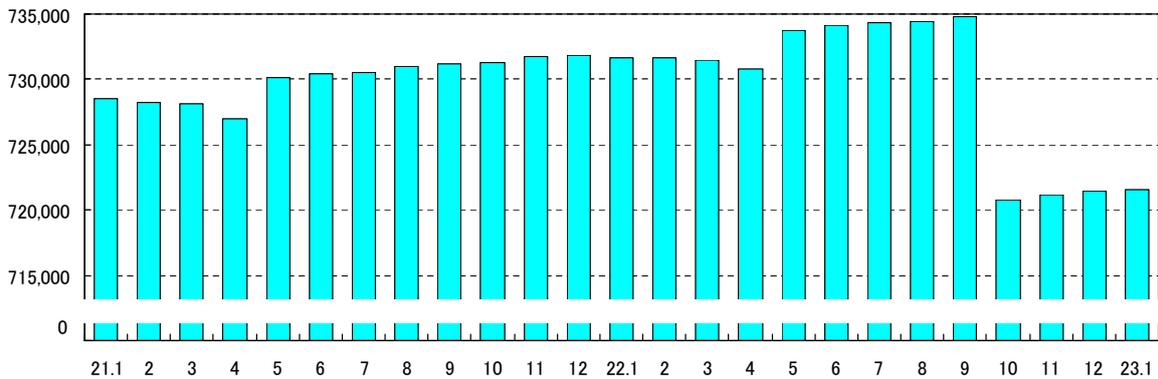


表2 人口及び世帯数の推移(昭和30年10月～平成23年1月)

年月日	人 口 (人)			世 帯 数 (世帯)	1世帯当たりの 人員
	総 数	男	女		
昭和30年10月1日	2,095,237	1,016,756	1,078,481	370,577	5.65
昭和35年 "	2,051,137	986,836	1,064,301	398,636	5.15
昭和40年 "	1,983,754	954,988	1,028,766	424,249	4.68
昭和45年 "	1,946,077	936,202	1,009,875	459,932	4.23
昭和50年 "	1,970,616	953,449	1,017,167	502,786	3.92
昭和55年 "	2,035,272	990,575	1,044,697	550,442	3.70
昭和60年 "	2,080,304	1,012,456	1,067,848	574,968	3.62
平成 2年 "	2,104,058	1,024,354	1,079,704	606,936	3.47
平成 7年 "	2,133,592	1,042,030	1,091,562	653,814	3.26
平成12年 "	2,126,935	1,037,787	1,089,148	687,828	3.09
平成17年 "	2,091,319	1,016,724	1,074,595	709,644	2.95
平成18年 "	2,080,186	1,010,845	1,069,341	715,921	2.91
平成19年 "	2,068,352	1,004,619	1,063,733	721,819	2.87
平成20年 "	2,055,496	997,947	1,057,549	727,541	2.83
平成21年 "	2,042,816	991,353	1,051,463	731,321	2.79
平成22年 "	2,029,064	984,682	1,044,382	720,794	2.82
平成21年 1月1日	2,054,095	997,100	1,056,995	728,464	2.82
平成21年 2月 "	2,052,970	996,495	1,056,475	728,266	2.82
平成21年 3月 "	2,051,792	995,946	1,055,846	728,106	2.82
平成21年 4月 "	2,044,914	992,363	1,052,551	726,982	2.81
平成21年 5月 "	2,045,516	992,901	1,052,615	730,173	2.80
平成21年 6月 "	2,044,845	992,464	1,052,381	730,449	2.80
平成21年 7月 "	2,044,096	991,980	1,052,116	730,544	2.80
平成21年 8月 "	2,043,663	991,814	1,051,849	731,016	2.80
平成21年 9月 "	2,043,451	991,663	1,051,788	731,223	2.79
平成21年10月 "	2,042,816	991,353	1,051,463	731,321	2.79
平成21年11月 "	2,042,505	991,175	1,051,330	731,763	2.79
平成21年12月 "	2,041,844	990,865	1,050,979	731,804	2.79
平成22年 1月 "	2,041,051	990,434	1,050,617	731,700	2.79
平成22年 2月 "	2,039,782	989,772	1,050,010	731,621	2.79
平成22年 3月 "	2,038,598	989,267	1,049,331	731,460	2.79
平成22年 4月 "	2,032,302	986,068	1,046,234	730,776	2.78
平成22年 5月 "	2,032,604	986,431	1,046,173	733,747	2.77
平成22年 6月 "	2,032,117	986,246	1,045,871	734,138	2.77
平成22年 7月 "	2,031,631	986,020	1,045,611	734,375	2.77
平成22年 8月 "	2,030,813	985,648	1,045,165	734,446	2.77
平成22年 9月 "	2,030,463	985,612	1,044,851	734,782	2.76
平成22年 10月 "	2,029,064	984,682	1,044,382	720,794	2.82
平成22年 11月 "	2,028,778	984,584	1,044,194	721,208	2.81
平成22年 12月 "	2,027,973	984,256	1,043,717	721,416	2.81
平成23年 1月 "	2,027,138	983,827	1,043,311	721,531	2.81

3 年齢別人口

(1) 年齢3区分別人口

平成22年10月1日現在の人口を年齢3区分別にみると、年少人口（0～14歳）が276,069人（県人口に占める割合13.7%）、生産年齢人口（15～64歳）が1,236,458人（同61.3%）、老年人口（65歳以上）が504,451人（同25.0%）となっている。

総人口に占める構成比を前年と比較すると、年少人口が0.2ポイント、生産年齢人口が0.1ポイント低下しているのに対して、老年人口は0.3ポイント上昇している。

図4 年齢3区分別人口の推移（大正9年～平成22年、各年10月1日現在）

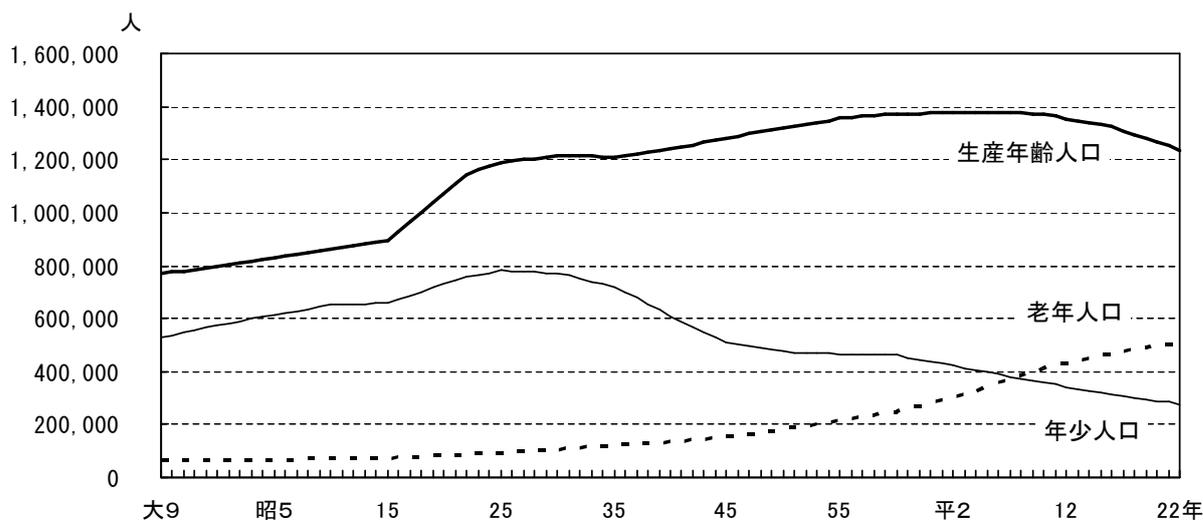


表3 年齢3区分別人口、年齢構造指数の推移（大正9年～平成22年、各年10月1日現在）（単位：人、%）

人口・指数 年次	年齢別人口						年齢構造指数			
	年少人口 (0～14歳)		生産年齢人口 (15～64歳)		老年人口 (65歳以上)		年少人口	老年人口	従属人口	老年化
	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比				
大正9年	528,818	38.8	768,798	56.4	65,134	4.8	68.8	8.5	77.3	12.3
14年	575,325	40.0	796,855	55.4	65,416	4.6	72.2	8.2	80.4	11.4
昭和5年	614,170	40.7	827,833	54.9	66,147	4.4	74.2	8.0	82.2	10.8
10年	651,195	41.2	859,803	54.4	70,565	4.5	75.7	8.2	83.9	10.8
15年	658,598	40.5	892,339	54.9	74,461	4.6	73.8	8.3	82.2	11.3
22年	758,767	38.1	1,146,117	57.5	87,576	4.4	66.2	7.6	73.8	11.5
25年	780,838	37.9	1,187,059	57.6	94,391	4.6	65.8	8.0	73.7	12.1
30年	771,329	36.8	1,216,140	58.0	107,749	5.1	63.4	8.9	72.3	14.0
35年	720,721	35.1	1,208,990	58.9	121,426	5.9	59.6	10.0	69.7	16.8
40年	608,959	30.7	1,239,658	62.5	135,137	6.8	49.1	10.9	60.0	22.2
45年	508,172	26.1	1,283,176	65.9	154,729	8.0	39.6	12.1	51.7	30.4
50年	473,903	24.1	1,316,161	66.8	180,356	9.2	36.0	13.7	49.7	38.1
55年	466,840	22.9	1,355,601	66.6	212,704	10.5	34.4	15.7	50.1	45.6
60年	460,767	22.1	1,371,556	65.9	247,947	11.9	33.6	18.1	51.7	53.8
平成2年	422,064	20.1	1,377,857	65.6	301,552	14.3	30.6	21.9	52.5	71.4
7年	381,511	17.9	1,380,208	64.7	371,572	17.4	27.6	26.9	54.6	97.4
12年	341,038	16.0	1,353,500	63.7	431,797	20.3	25.2	31.9	57.1	126.6
13年	333,820	15.7	1,347,519	63.4	442,465	20.8	24.8	32.8	57.6	132.5
14年	327,292	15.4	1,339,192	63.2	452,298	21.3	24.4	33.8	58.2	138.2
15年	320,372	15.2	1,330,921	63.0	460,596	21.8	24.1	34.6	58.7	143.8
16年	314,449	14.9	1,324,047	62.9	465,754	22.1	23.7	35.2	58.9	148.1
17年	307,294	14.7	1,307,734	62.6	474,860	22.7	23.5	36.3	59.8	154.5
18年	301,513	14.5	1,295,007	62.3	482,235	23.2	23.3	37.2	60.5	159.9
19年	295,454	14.3	1,281,510	62.0	489,957	23.7	23.1	38.2	61.3	165.8
20年	289,998	14.1	1,267,314	61.7	496,753	24.2	22.9	39.2	62.1	171.3
21年	284,095	13.9	1,252,509	61.4	504,781	24.7	22.7	40.3	63.0	177.7
22年	276,069	13.7	1,236,458	61.3	504,451	25.0	22.3	40.8	63.1	182.7

(注1) 大正9年～平成12年、平成17年及び平成22年は国勢調査、その他の年は福島県現住人口調査による。

(注2) 年齢不明があるため、各年齢別人口の合計は同時期の人口に必ずしも一致しない。

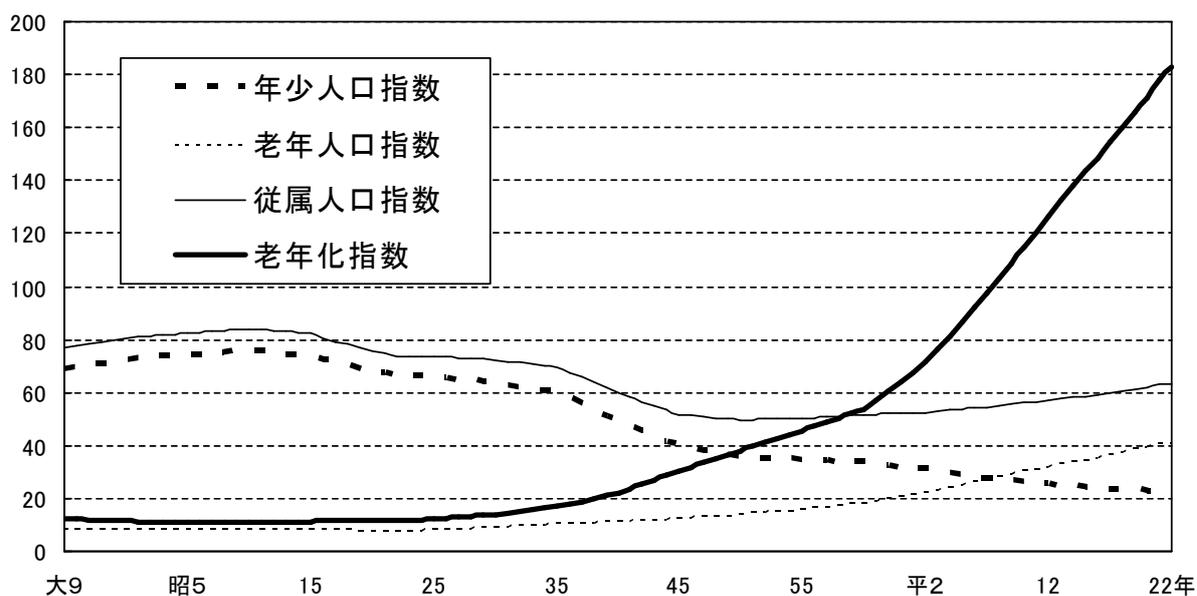
(注3) 構成比は、分母から年齢不明を除いて算出している。また、過去の割合も同様の方式で再計算している。

(2) 年齢構造指数の推移

年齢構造指数の推移をみると、年少人口指数は昭和15年以降一貫して低下を続けているが、老年人口指数は、戦後上昇を続けている。従属人口指数は昭和10年にピークを迎えたあと低下を続けていたが、昭和55年から緩やかに上昇している。

一方、老年化指数は、昭和25年までは安定して推移していたが、昭和30年以降緩やかに上昇し始め、平成に入ると急激な上昇となり、平成8年4月1日現在に初めて100を超え、平成22年10月1日現在では182.7となっている。

図5 年齢構造指数の推移（大正9年～平成22年、各年10月1日現在）



< 年齢構造指数 >

年少（老年）人口指数 ----- 生産年齢人口100人が年少(老年)人口を何人養わなければならないかを表したもの。

$$\text{年少(老年)人口指数} = \text{年少(老年)人口} \div \text{生産年齢人口} \times 100$$

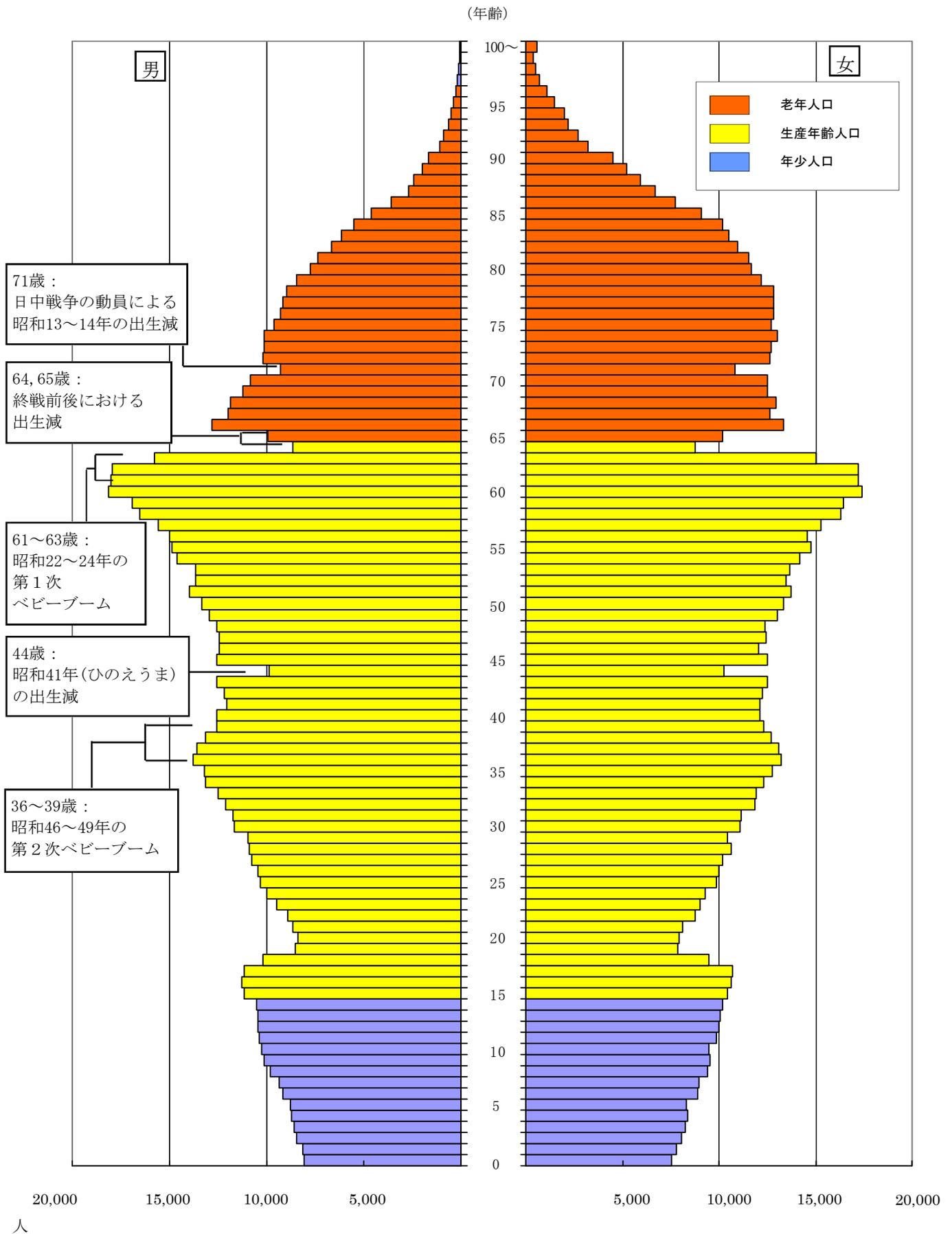
従属人口指数 ----- 生産年齢人口100人が「子供」(年少人口)と「老人」(老年人口)を何人養わなければならないかを表したもの。値が大きければ大きいほど負担が大きいことになる。

$$\text{従属人口指数} = (\text{年少人口} + \text{老年人口}) \div \text{生産年齢人口} \times 100$$

老年化指数 ----- 人口の高齢化を表す指標の一つ。値が100を超えると、老年人口が年少人口を上回ったことを示す。

$$\text{老年化指数} = \text{老年人口} \div \text{年少人口} \times 100$$

図6 福島県の人口ピラミッド（平成22年10月1日現在）



4 市町村別人口

(1) 市町村別人口

県内59市町村のうち、平成22年10月1日現在で最も人口が多いのは、いわき市で342,249人、以下郡山市（338,712人）、福島市（292,590人）と続いている。

一方、最も人口が少なかったのは、檜枝岐村で636人、以下昭和村（1,500人）、葛尾村（1,531人）と続いている。

表4 人口の多い(少ない)市町村(平成22年10月1日現在)

順位	上位10市町村				下位10市町村			
	市町村名	人口(人)	男(人)	女(人)	市町村名	人口(人)	男(人)	女(人)
1	いわき市	342,249	165,339	176,910	檜枝岐村	636	317	319
2	郡山市	338,712	166,336	172,376	昭和村	1,500	724	776
3	福島市	292,590	140,723	151,867	葛尾村	1,531	808	723
4	会津若松市	126,220	59,854	66,366	三島町	1,926	899	1,027
5	須賀川市	79,267	38,731	40,536	金山町	2,462	1,157	1,305
6	南相馬市	70,878	34,450	36,428	川内村	2,820	1,414	1,406
7	伊達市	66,027	31,951	34,076	北塩原村	3,185	1,590	1,595
8	白河市	64,704	31,884	32,820	湯川村	3,364	1,580	1,784
9	二本松市	59,871	29,012	30,859	磐梯町	3,761	1,787	1,974
10	喜多方市	52,356	24,775	27,581	鮫川村	3,989	1,973	2,016

(2) 年齢3区分別人口比率

市町村別に平成22年10月1日現在の年齢3区分別人口比率を見ると、年少人口の比率が最も高い市町村は、大熊町で16.05%、以下鏡石町（15.56%）、中島村（15.45%）と続いている。

また、年少人口の比率が最も低い市町村は、金山町で6.13%、以下三島町（6.91%）、昭和村（6.93%）と続いている。

一方、老年人口比率が最も高い市町村は、金山町で55.08%、以下昭和村（53.20%）、三島町（47.38%）と続いている。

また、老年人口比率が最も低い市町村は、西郷村の18.40%、以下郡山市（20.32%）、大熊町（20.96%）と続いている。

表5 年少・老年人口比率の高い(低い)市町村(平成22年10月1日現在)

順位	年少人口比率				老年人口比率			
	上位5市町村		下位5市町村		上位5市町村		下位5市町村	
	市町村名	比率(%)	市町村名	比率(%)	市町村名	比率(%)	市町村名	比率(%)
1	大熊町	16.05	金山町	6.13	金山町	55.08	西郷村	18.40
2	鏡石町	15.56	三島町	6.91	昭和村	53.20	郡山市	20.32
3	中島村	15.45	昭和村	6.93	三島町	47.38	大熊町	20.96
4	西郷村	15.40	川内村	9.22	西会津町	41.38	富岡町	21.11
5	棚倉町	15.22	西会津町	9.76	只見町	41.29	鏡石町	21.19

图7 市町村別人口（平成22年10月1日現在）

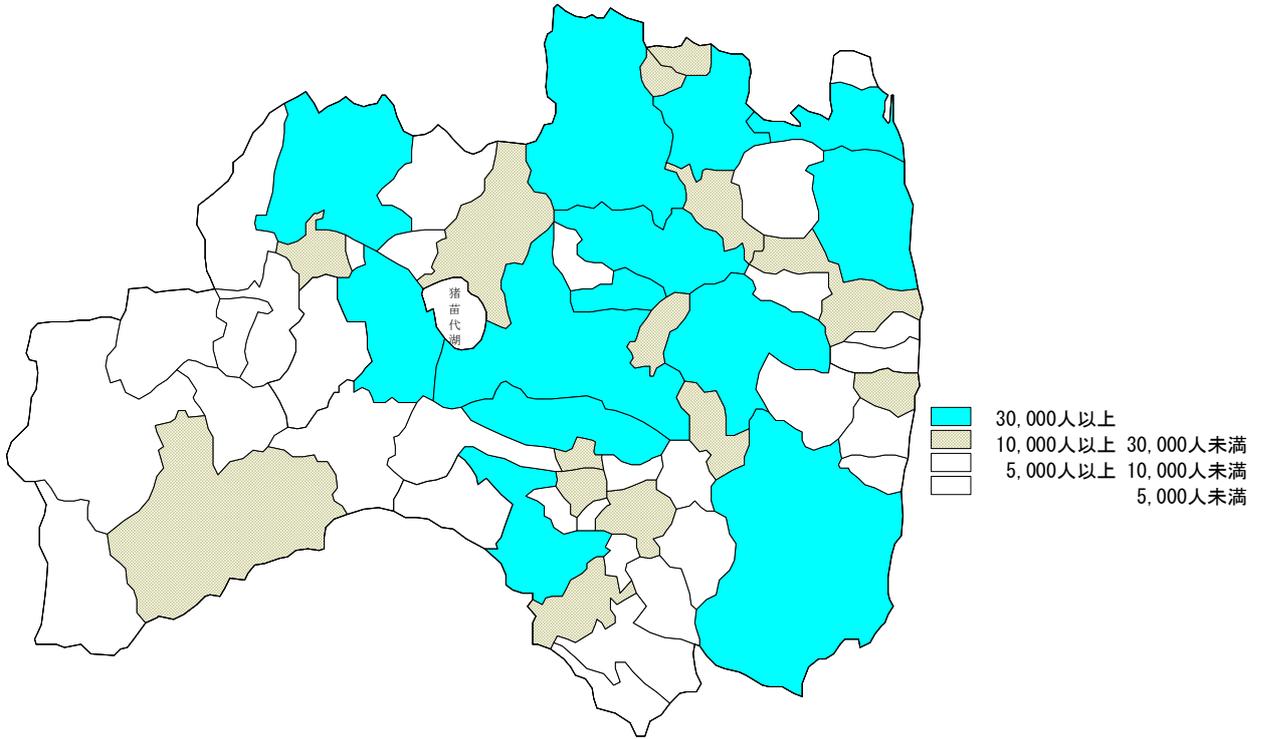
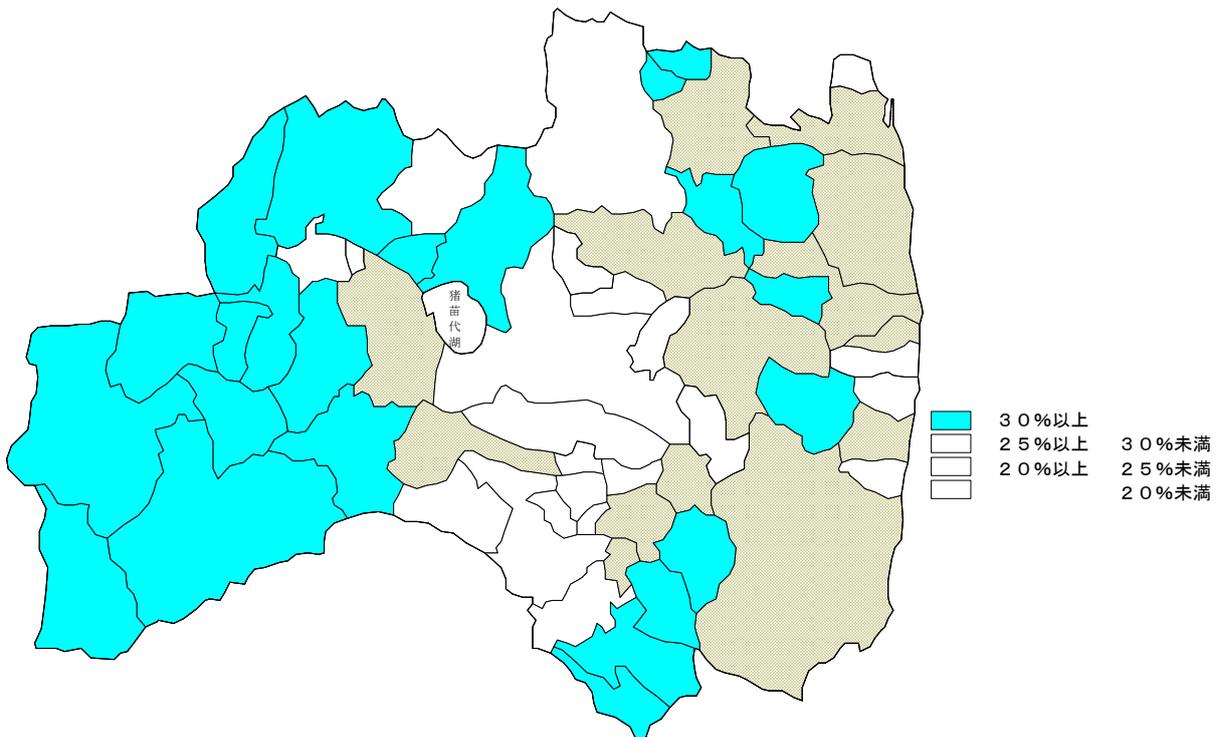


图8 市町村別老年人口比率（平成22年10月1日現在）



第2 人口動態

1 県の人口動態

(1) 県の人口動態

平成22年の人口動態は、自然増減が6,600人の減、社会増減が6,627人の減となり、その結果人口増減が13,227人の減となった。

前年と比較すると、自然増減が1,522人の減、社会増減が1,339人の増となり、その結果人口増減が183人の減となった。

図9 人口増減数(自然・社会増減数)の推移(昭和50年～平成22年)

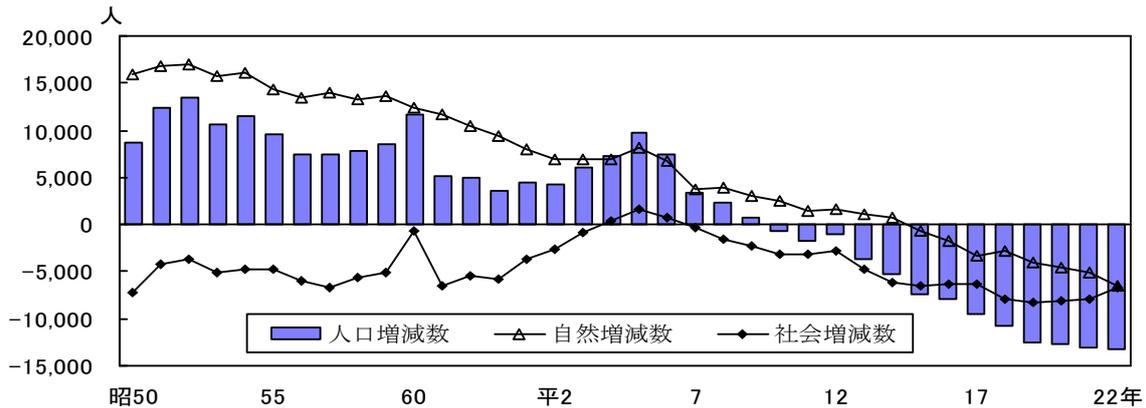


表6 人口増減数(自然・社会増減数)の推移(昭和50年～平成22年)

(単位：人、%)

年次	自然増減		社会増減		人口増減		年初人口 (各年1月1日現在)
	実数	率	実数	率	実数	率	
昭和50年	15,901	0.81	△ 7,269	△ 0.37	8,632	0.44	1,957,723
51年	16,742	0.85	△ 4,304	△ 0.22	12,438	0.63	1,975,806
52年	17,015	0.86	△ 3,626	△ 0.18	13,389	0.67	1,988,617
53年	15,814	0.79	△ 5,186	△ 0.26	10,628	0.53	2,002,020
54年	16,188	0.80	△ 4,716	△ 0.23	11,472	0.57	2,012,534
55年	14,362	0.71	△ 4,754	△ 0.23	9,608	0.47	2,023,796
56年	13,521	0.66	△ 6,012	△ 0.29	7,509	0.37	2,039,119
57年	14,059	0.69	△ 6,628	△ 0.32	7,431	0.36	2,046,587
58年	13,349	0.65	△ 5,603	△ 0.27	7,746	0.38	2,054,458
59年	13,674	0.66	△ 5,113	△ 0.25	8,561	0.42	2,062,418
60年	12,385	0.60	△ 745	△ 0.04	11,640	0.56	2,071,325
61年	11,722	0.56	△ 6,548	△ 0.31	5,174	0.25	2,083,356
62年	10,411	0.50	△ 5,404	△ 0.26	5,007	0.24	2,088,766
63年	9,350	0.45	△ 5,809	△ 0.28	3,541	0.17	2,094,157
平成元年	8,041	0.38	△ 3,671	△ 0.17	4,370	0.21	2,098,002
2年	6,994	0.33	△ 2,675	△ 0.13	4,319	0.21	2,102,485
3年	6,937	0.33	△ 852	△ 0.04	6,085	0.29	2,106,847
4年	6,006	0.28	432	0.02	6,438	0.30	2,112,932
5年	4,783	0.23	1,673	0.08	6,456	0.30	2,119,370
6年	5,429	0.26	690	0.03	6,119	0.29	2,125,826
7年	3,649	0.17	△ 295	△ 0.01	3,354	0.16	2,131,945
8年	3,903	0.18	△ 1,496	△ 0.07	2,407	0.11	2,135,299
9年	3,039	0.14	△ 2,291	△ 0.11	748	0.03	2,137,706
10年	2,444	0.11	△ 3,184	△ 0.15	△ 740	△ 0.03	2,138,454
11年	1,388	0.06	△ 3,195	△ 0.15	△ 1,807	△ 0.08	2,137,714
12年	1,704	0.08	△ 2,778	△ 0.13	△ 1,074	△ 0.05	2,135,907
13年	1,090	0.05	△ 4,835	△ 0.23	△ 3,745	△ 0.18	2,128,270
14年	815	0.04	△ 6,122	△ 0.29	△ 5,307	△ 0.25	2,124,525
15年	△ 770	△ 0.04	△ 6,557	△ 0.31	△ 7,327	△ 0.35	2,119,218
16年	△ 1,690	△ 0.08	△ 6,313	△ 0.30	△ 8,003	△ 0.38	2,111,891
17年	△ 3,300	△ 0.16	△ 6,305	△ 0.30	△ 9,605	△ 0.46	2,103,888
18年	△ 2,870	△ 0.14	△ 7,964	△ 0.38	△ 10,834	△ 0.52	2,090,107
19年	△ 4,120	△ 0.20	△ 8,357	△ 0.40	△ 12,477	△ 0.60	2,079,273
20年	△ 4,627	△ 0.22	△ 8,074	△ 0.39	△ 12,701	△ 0.61	2,066,796
21年	△ 5,078	△ 0.25	△ 7,966	△ 0.39	△ 13,044	△ 0.64	2,054,095
22年	△ 6,600	△ 0.32	△ 6,627	△ 0.32	△ 13,227	△ 0.65	2,041,051
22-21	△ 1,522		1,339		△ 183		H23.1.1現在 2,027,138

(注) 率は年初人口(各年1月1日現在)に対する割合

(2) 県の自然動態

平成22年の自然動態は、出生 16,169人、死亡 22,769人で、自然増減が 6,600人の減となった。

前年と比較すると、出生が307人の減、死亡が1,215人の増となり、その結果自然増減が1,522人の減となった。

また、出生率は0.79%、死亡率1.12%となり、前年に比べ出生率は0.01ポイント減、死亡率は0.07ポイント増となった。

図10 出生数・死亡数、自然増減数の推移(昭和50年～平成22年)

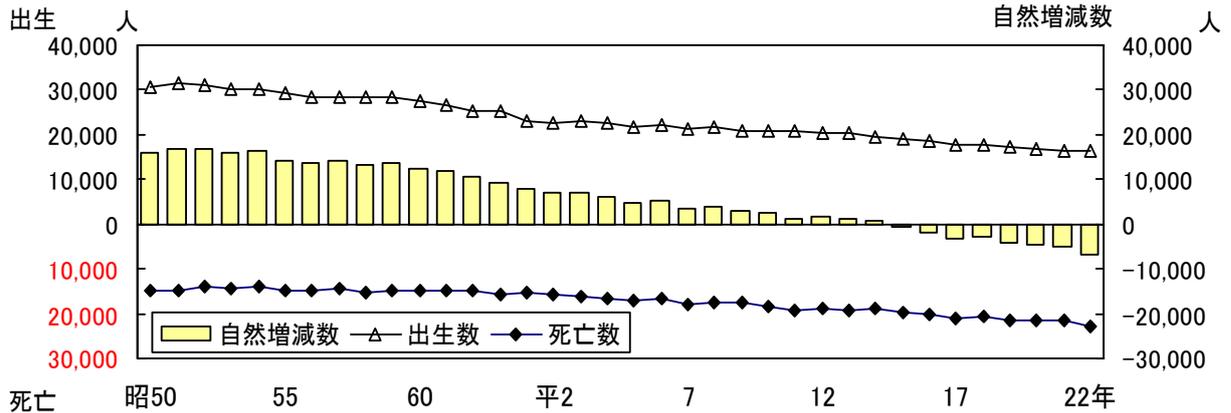


表7 出生数・死亡数、自然増減数の推移(昭和50年～平成22年)

(単位: 人、%)

年次	出生数		死亡数		自然増減数		年初人口 (各年1月1日現在)
	数	率	数	率	数	率	
昭和50年	30,608	1.56	14,707	0.75	15,901	0.81	1,957,723
51年	31,438	1.59	14,696	0.74	16,742	0.85	1,975,806
52年	31,036	1.56	14,021	0.71	17,015	0.86	1,988,617
53年	30,025	1.50	14,211	0.71	15,814	0.79	2,002,020
54年	30,313	1.51	14,125	0.70	16,188	0.80	2,012,534
55年	29,121	1.44	14,759	0.73	14,362	0.71	2,023,796
56年	28,283	1.39	14,762	0.72	13,521	0.66	2,039,119
57年	28,506	1.39	14,447	0.71	14,059	0.69	2,046,587
58年	28,485	1.39	15,136	0.74	13,349	0.65	2,054,458
59年	28,602	1.39	14,928	0.72	13,674	0.66	2,062,418
60年	27,301	1.32	14,916	0.72	12,385	0.60	2,071,325
61年	26,638	1.28	14,916	0.72	11,722	0.56	2,083,356
62年	25,316	1.21	14,905	0.71	10,411	0.50	2,088,766
63年	25,099	1.20	15,749	0.75	9,350	0.45	2,094,157
平成元	23,201	1.11	15,160	0.72	8,041	0.38	2,098,002
2年	22,783	1.08	15,789	0.75	6,994	0.33	2,102,485
3年	22,902	1.09	15,965	0.76	6,937	0.33	2,106,847
4年	22,530	1.07	16,524	0.78	6,006	0.28	2,112,932
5年	21,748	1.03	16,965	0.80	4,783	0.23	2,119,370
6年	22,215	1.05	16,786	0.79	5,429	0.26	2,125,826
7年	21,409	1.00	17,760	0.83	3,649	0.17	2,131,945
8年	21,506	1.01	17,603	0.82	3,903	0.18	2,135,299
9年	20,732	0.97	17,693	0.83	3,039	0.14	2,137,706
10年	20,888	0.98	18,444	0.86	2,444	0.11	2,138,454
11年	20,748	0.97	19,360	0.91	1,388	0.06	2,137,714
12年	20,401	0.96	18,697	0.88	1,704	0.08	2,135,907
13年	20,181	0.95	19,091	0.90	1,090	0.05	2,128,270
14年	19,527	0.92	18,712	0.88	815	0.04	2,124,525
15年	18,902	0.89	19,672	0.93	△ 770	△ 0.04	2,119,218
16年	18,472	0.87	20,162	0.95	△ 1,690	△ 0.08	2,111,891
17年	17,598	0.84	20,898	0.99	△ 3,300	△ 0.16	2,103,888
18年	17,665	0.85	20,535	0.98	△ 2,870	△ 0.14	2,090,107
19年	17,211	0.83	21,331	1.03	△ 4,120	△ 0.20	2,079,273
20年	16,788	0.81	21,415	1.04	△ 4,627	△ 0.22	2,066,796
21年	16,476	0.80	21,554	1.05	△ 5,078	△ 0.25	2,054,095
22年	16,169	0.79	22,769	1.12	△ 6,600	△ 0.32	2,041,051
22-21	△ 307		1,215		△ 1,522		H23. 1. 1現在 2,027,138

(注) 率は年初人口(各年1月1日現在)に対する割合

(3) 県の社会動態

平成22年の社会動態は、転入者が29,321人、転出者が35,948人で、社会増減が6,627人の減となった。

前年と比較すると、転入が1,442人の減、転出も2,781人の減となり、その結果社会増減が1,339人の増となった。

図11 転入・転出者数、社会増減数の推移(昭和50年～平成22年)

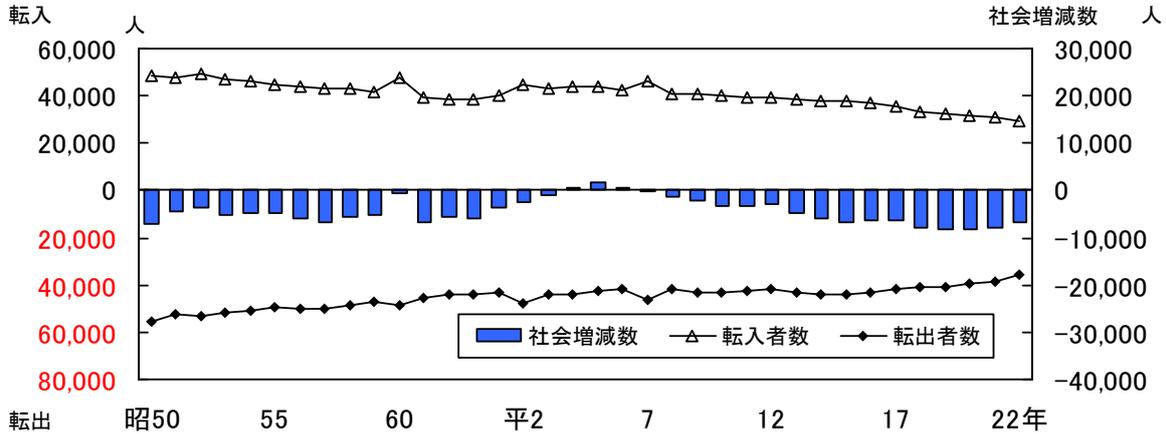


表8 転入・転出者数、社会増減数の推移(昭和50年～平成22年)

(単位：人、%)

年次	転入者数(注1)		転出者数(注2)		社会増減数		年初人口 (各年1月1日現在)
	数	率	数	率	数	率	
昭和50年	48,149	2.46	55,418	2.83	△7,269	△0.37	1,957,723
51年	47,942	2.43	52,246	2.64	△4,304	△0.22	1,975,806
52年	49,391	2.48	53,017	2.67	△3,626	△0.18	1,988,617
53年	46,700	2.33	51,886	2.59	△5,186	△0.26	2,002,020
54年	46,122	2.29	50,838	2.53	△4,716	△0.23	2,012,534
55年	45,017	2.22	49,771	2.46	△4,754	△0.23	2,023,796
56年	43,890	2.15	49,902	2.45	△6,012	△0.29	2,039,119
57年	43,393	2.12	50,021	2.44	△6,628	△0.32	2,046,587
58年	43,054	2.10	48,657	2.37	△5,603	△0.27	2,054,458
59年	41,927	2.03	47,040	2.28	△5,113	△0.25	2,062,418
60年	47,717	2.30	48,462	2.34	△745	△0.04	2,071,325
61年	39,160	1.88	45,708	2.19	△6,548	△0.31	2,083,356
62年	38,781	1.86	44,185	2.12	△5,404	△0.26	2,088,766
63年	38,549	1.84	44,358	2.12	△5,809	△0.28	2,094,157
平成元年	39,741	1.89	43,412	2.07	△3,671	△0.17	2,098,002
2年	45,008	2.14	47,683	2.27	△2,675	△0.13	2,102,485
3年	43,228	2.05	44,080	2.09	△852	△0.04	2,106,847
4年	44,198	2.09	43,766	2.07	432	0.02	2,112,932
5年	44,001	2.08	42,328	2.00	1,673	0.08	2,119,370
6年	42,580	2.00	41,890	1.97	690	0.03	2,125,826
7年	46,281	2.17	46,576	2.18	△295	△0.01	2,131,945
8年	41,104	1.92	42,600	2.00	△1,496	△0.07	2,135,299
9年	40,671	1.90	42,962	2.01	△2,291	△0.11	2,137,706
10年	40,017	1.87	43,201	2.02	△3,184	△0.15	2,138,454
11年	39,008	1.82	42,203	1.97	△3,195	△0.15	2,137,714
12年	39,289	1.84	42,067	1.97	△2,778	△0.13	2,135,907
13年	38,613	1.81	43,448	2.04	△4,835	△0.23	2,128,270
14年	37,800	1.78	43,922	2.07	△6,122	△0.29	2,124,525
15年	37,482	1.77	44,039	2.08	△6,557	△0.31	2,119,218
16年	36,774	1.74	43,087	2.04	△6,313	△0.30	2,111,891
17年	35,381	1.68	41,686	1.98	△6,305	△0.30	2,103,888
18年	33,349	1.60	41,313	1.98	△7,964	△0.38	2,090,107
19年	32,650	1.57	41,007	1.97	△8,357	△0.40	2,079,273
20年	31,540	1.53	39,614	1.92	△8,074	△0.39	2,066,796
21年	30,763	1.50	38,729	1.89	△7,966	△0.39	2,054,095
22年	29,321	1.44	35,948	1.76	△6,627	△0.32	2,041,051
22-21	△1,442		△2,781		1,339		H23.1.1現在 2,027,138

(注1) 転入者数 = 県外からの転入者 + 「従前地不詳等」の転入者

(注2) 転出者数 = 県外への転出者 + 「転出先不明等」の転出者

(注3) 転入(転出)率は年初人口(各年1月1日現在)に対する割合

2 方部別人口動態

(1) 方部別人口動態

県内7方部別にみると、すべての方部で人口が減少している。

人口減少数が最も多いのは、会津で2,947人の減、以下県北(2,817人減)、いわき(2,376人減)と続いている。

また、人口の減少率が最も高いのは南会津で1.92%の減となっている。

表9 方部別人口動態(平成22年)

(単位:人、%)

方部	自然動態		社会動態(注1)		人口動態		年初人口 (平成22年 1月1日現在)
	実数	率(注2)	実数	率(注2)	実数	率(注2)	
県計	△6,600	△0.32	△6,627	△0.32	△13,227	△0.65	2,041,051
市部	△3,813	△0.24	△4,554	△0.28	△8,367	△0.52	1,612,017
郡部	△2,787	△0.65	△2,073	△0.48	△4,860	△1.13	429,034
県北管内	△1,453	△0.29	△1,364	△0.27	△2,817	△0.56	499,902
県中管内	△806	△0.15	△1,395	△0.25	△2,201	△0.40	554,097
県南管内	△328	△0.22	△632	△0.42	△960	△0.64	150,666
会津管内	△1,599	△0.60	△1,348	△0.51	△2,947	△1.11	265,432
南会津管内	△280	△0.92	△306	△1.00	△586	△1.92	30,520
相双管内	△849	△0.43	△491	△0.25	△1,340	△0.69	195,501
いわき管内	△1,285	△0.37	△1,091	△0.32	△2,376	△0.69	344,933

(注1) 「従前地不詳等」の転入者及び「転出先不明等」の転出者を含む。

(注2) 増減率は年初人口(平成22年1月1日現在)に対する割合

(2) 方部別自然動態

県内7方部別にみると、出生率では県中と県南が0.85%と最も高く、以下相双(0.80%)と続いており、最も低いのは南会津で0.66%となっている。

一方、死亡率では南会津が1.58%と最も高く、会津が1.33%でそれに続いている。

また、自然増減は7方部すべてにおいて減少している。このうち、減少率が最も低いのは県中で0.15%の減、最も高いのは南会津で0.92%の減となっている。

表10 方部別自然動態(平成22年)

(単位:人、%)

方部	出生		死亡		自然増減	
	実数	率	実数	率	実数	率
県計	16,169	0.79	22,769	1.12	△6,600	△0.32
市部	13,065	0.81	16,878	1.05	△3,813	△0.24
郡部	3,104	0.72	5,891	1.37	△2,787	△0.65
県北管内	3,811	0.76	5,264	1.05	△1,453	△0.29
県中管内	4,691	0.85	5,497	0.99	△806	△0.15
県南管内	1,275	0.85	1,603	1.06	△328	△0.22
会津管内	1,932	0.73	3,531	1.33	△1,599	△0.60
南会津管内	201	0.66	481	1.58	△280	△0.92
相双管内	1,569	0.80	2,418	1.24	△849	△0.43
いわき管内	2,690	0.78	3,975	1.15	△1,285	△0.37

(注) 率は平成22年1月1日現在人口に対する割合

(3) 方部別社会動態

県内移動を含めた社会増減を方部別にみると、7方部すべてにおいて転出超過となっている。

このうち、減少率が最も低いのは県中と相双で0.25%の減、最も高いのは南会津で1.00%の減となっている。

表 1 1 方部別社会動態（平成22年）

（単位：人、％）

動態 方部	転入者数				転出者数				社会増減	
	県内		県外(注1)		県内		県外(注2)		実数	率
	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率		
県計	28,272	1.39	29,321	1.44	28,272	1.39	35,948	1.76	△6,627	△0.32
市部	20,508	1.27	24,412	1.51	19,736	1.22	29,738	1.84	△4,554	△0.28
郡部	7,764	1.81	4,909	1.14	8,536	1.99	6,210	1.45	△2,073	△0.48
県北管内	7,216	1.44	6,927	1.39	7,078	1.42	8,429	1.69	△1,364	△0.27
県中管内	8,537	1.54	8,654	1.56	8,155	1.47	10,431	1.88	△1,395	△0.25
県南管内	2,741	1.82	2,036	1.35	2,767	1.84	2,642	1.75	△632	△0.42
会津管内	4,056	1.53	3,127	1.18	4,246	1.60	4,285	1.61	△1,348	△0.51
南会津管内	449	1.47	300	0.98	616	2.02	439	1.44	△306	△1.00
相双管内	3,160	1.62	3,051	1.56	3,280	1.68	3,422	1.75	△491	△0.25
いわき管内	2,113	0.61	5,226	1.52	2,130	0.62	6,300	1.83	△1,091	△0.32

（注1）「従前地不詳等」の転入者を含む。

（注2）「転出先不明等」の転出者を含む。

（注3）率は年初人口（平成22年1月1日現在）に対する割合

3 市町村別人口動態

(1) 市町村別人口動態

市町村別にみると、人口は59市町村のうち4町村で増加し、55市町村で減少した。

前年と比較すると、増加した市町村は1減少した。

そのうち、増加数の最も多いのは、大熊町で201人の増、以下大玉村（40人増）、磐梯町（20人増）と続いている。

一方、減少数の最も多いのは、いわき市で2,376人の減、以下会津若松市（997人減）、福島市（944人減）と続いている。

表 1 2 人口増減数の多い市町村（平成22年）

（単位：人、％）

順位	人口増加数の多い市町村					人口減少数の多い市町村				
	市町村	増加数			増加率	市町村	減少数			減少率
		総数	自然増減数	社会増減数			総数	自然増減数	社会増減数	
1	大熊町	201	4	197	1.78	いわき市	△2,376	△1,285	△1,091	△0.69
2	大玉村	40	△7	47	0.47	会津若松市	△997	△285	△712	△0.78
3	磐梯町	20	△20	40	0.53	福島市	△944	△402	△542	△0.32
4	鏡石町	17	△13	30	0.13	伊達市	△668	△439	△229	△1.01
5	—	—	—	—	—	二本松市	△658	△232	△426	△1.09

（注1）増減率は年初人口（平成22年1月1日現在）に対する割合

また、増減率をみると、増加率の最も高いのは、大熊町で1.78%の増、以下磐梯町(0.53%増)、大玉村(0.47%増)と続いている。
 一方、減少率の最も高いのは、三島町で3.89%の減、以下下郷町(2.90%減)、川内村(2.73%減)と続いている。

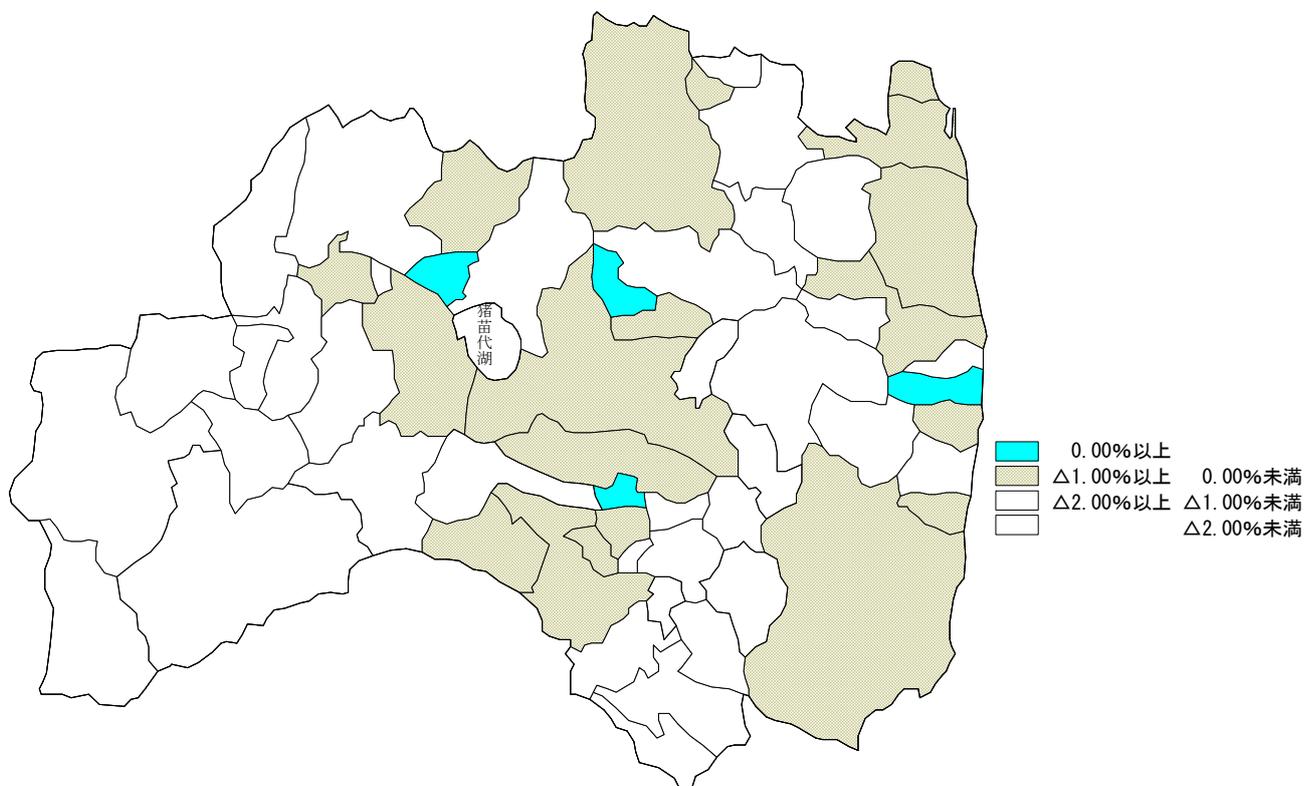
表 1 3 人口増減率の高い市町村（平成22年）

(単位:%、人)

順位	人口増加率の高い市町村					人口減少率の高い市町村				
	市町村	増加率	増加数			市町村	減少率	減少数		
			総数	自然増減数	社会増減数			総数	自然増減数	社会増減数
1	大熊町	1.78	201	4	197	三島町	△ 3.89	△78	△38	△40
2	磐梯町	0.53	20	△20	40	下郷町	△ 2.90	△189	△64	△125
3	大玉村	0.47	40	△7	47	川内村	△ 2.73	△79	△31	△48
4	鏡石町	0.13	17	△13	30	西会津町	△ 2.66	△199	△138	△61
5	—	—	—	—	—	金山町	△ 2.25	△56	△63	7

(注) 増減率は年初人口（平成22年1月1日現在）に対する割合

図 1 2 市町村別人口増減率（平成22年）



(2) 市町村別自然動態

市町村別にみると、自然増減は59市町村のうち4町村で増加し、55市町村で減少した。出生率の最も高いのは、檜枝岐村で1.18%、以下大熊町（1.07%）、大玉村（0.93%）と続いている。

また、死亡率の最も高いのは、金山町で2.69%、以下昭和村（2.50%）、西会津町（2.31%）と続いている。

自然増加率の最も高いのは、大熊町で1.78%の増、以下磐梯町（0.53%増）、大玉村（0.47%増）と続いている。

一方、自然減少率の最も高いのは、三島町で3.89%の減、以下下郷町（2.90%減）、川内村（2.73%減）と続いている。

表 1 4 出生率、死亡率、自然増減率の高い（低い）市町村（平成22年） (単位：%)

順位	出生率				死亡率				自然増減率			
	上位5市町村		下位5市町村		上位5市町村		下位5市町村		上位5市町村		下位5市町村	
	市町村名	率										
1	檜枝岐村	1.18	三島町	0.05	金山町	2.69	郡山市	0.86	大熊町	1.78	三島町	△ 3.89
2	大熊町	1.07	金山町	0.16	昭和村	2.50	中島村	0.87	磐梯町	0.53	下郷町	△ 2.90
3	大玉村	0.93	桑折町	0.45	西会津町	2.31	白河市	0.92	大玉村	0.47	川内村	△ 2.73
4	鏡石町	0.92	西会津町	0.47	柳津町	2.23	福島市	0.96	鏡石町	0.13	西会津町	△ 2.66
5	棚倉町	0.92	昭和村	0.49	葛尾村	2.09	西郷村	0.97	—	—	金山町	△ 2.25

(注) 率は平成22年1月1日現在人口に対する割合

(3) 市町村別社会動態

市町村別にみると、社会増減は59市町村のうち10町村で増加し、49市町村で減少した。

そのうち、社会増加数の最も多いのは、大熊町で197人の増、以下大玉村（47人増）、磐梯町（40人増）と続いている。

また、社会増加率の最も高いのは、大熊町で1.74%の増、以下磐梯町（1.06%増）、大玉村（0.56%増）と続いている。

一方、社会減少数の最も多いのは、いわき市で1,091人の減、以下会津若松市（712人減）、福島市（542人減）と続いている。

また、社会減少率の最も高いのは、三島町で2.00%の減、以下下郷町及び檜枝岐村（1.92%減）と続いている。

表 1 5 社会増減数（率）の多い（高い）市町村（平成22年） (単位：人、%)

順位	社会増減数				社会増減率			
	上位5市町村		下位5市町村		上位5市町村		下位5市町村	
	市町村名	増減数	市町村名	増減数	市町村名	増減率	市町村名	増減率
1	大熊町	197	いわき市	△ 1,091	大熊町	1.74	三島町	△ 2.00
2	大玉村	47	会津若松市	△ 712	磐梯町	1.06	下郷町	△ 1.92
3	磐梯町	40	福島市	△ 542	大玉村	0.56	檜枝岐村	△ 1.92
4	鏡石町	30	二本松市	△ 426	広野町	0.43	川内村	△ 1.66
5	広野町	23	郡山市	△ 273	葛尾村	0.40	中島村	△ 1.43

(注) 増減率は年初人口（平成22年1月1日現在）に対する割合

第3 移動者の状況

1 月別移動者数

県外移動を月別にみると、転入の最も多いのは3月で5,956人、次いで4月が4,696人となっている。

一方、転出が最も多いのは3月で11,540人、次いで4月が3,810人となっている。

社会増減をみると、転入超過の最も多いのは4月で886人、反対に3月は5,584人の大幅な転出超過となっている。これは、移動者の住民異動届の手続き（転出、転入）にタイムラグがあることが主な原因と考えられる。

また、県内移動を月別にみると、3月が6,758人で最も多く、次いで4月が4,680人となっている。

表16 月別県外転入・転出者数、社会増減数、県内移動者数(平成22年)

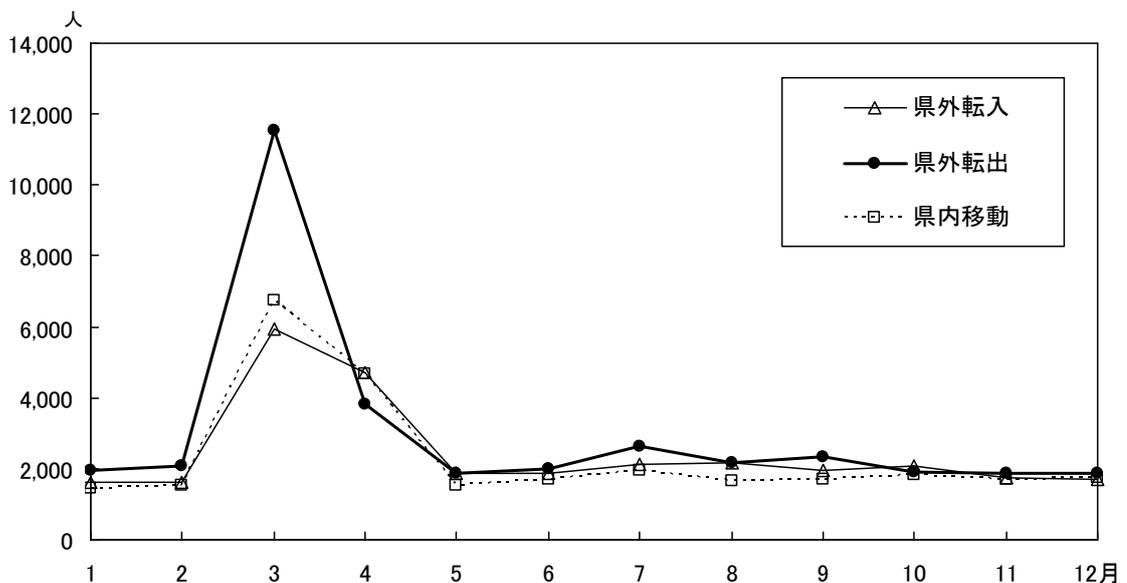
(単位：人)

月 別	県外転入者(A) (注1)	県外転出者(B) (注2)	社会増減数 (A)-(B)	県内移動者
1月	1,600	1,942	△ 342	1,446
2月	1,600	2,060	△ 460	1,541
3月	5,956	11,540	△ 5,584	6,758
4月	4,696	3,810	886	4,680
5月	1,863	1,859	4	1,518
6月	1,850	1,983	△ 133	1,707
7月	2,112	2,637	△ 525	1,946
8月	2,160	2,158	2	1,674
9月	1,967	2,344	△ 377	1,709
10月	2,095	1,890	205	1,840
11月	1,729	1,855	△ 126	1,712
12月	1,693	1,870	△ 177	1,741
計	29,321	35,948	△ 6,627	28,272

(注1) 「従前地不詳等」の転入者を含む。

(注2) 「転出先不明等」の転出者を含む。

図13 月別県外転入・転出者、県内移動者(平成22年)



2 移動者の従前地及び転出先

(1) 他の都道府県との移動

福島県と他の都道府県間の人口移動をみると、転入者数が最も多いのは東京都で4,812人、以下宮城県(4,230人)、神奈川県(2,515人)と続いている。

また、転出者数が最も多いのも東京都で6,614人、以下宮城県(5,150人)、神奈川県(3,264人)と続いている。

表17 地域別転入・転出者数、転入超過数(平成22年)

	転入者		転出者		転入超過 (A)-(B)
	実数(A)	構成比	実数(B)	構成比	
総数	28,715	100.0	35,368	100.0	△6,653
北海道	672	2.3	634	1.8	38
東北	7,148	24.9	7,847	22.2	△699
青森県	577	2.0	498	1.4	79
岩手県	776	2.7	747	2.1	29
宮城県	4,230	14.7	5,150	14.6	△920
秋田県	485	1.7	446	1.3	39
山形県	1,080	3.8	1,006	2.8	74
関東	14,213	49.5	19,253	54.4	△5,040
茨城県	1,558	5.4	2,045	5.8	△487
栃木県	1,129	3.9	1,516	4.3	△387
群馬県	423	1.5	572	1.6	△149
埼玉県	2,172	7.6	2,850	8.1	△678
千葉県	1,604	5.6	2,392	6.8	△788
東京都	4,812	16.8	6,614	18.7	△1,802
神奈川県	2,515	8.8	3,264	9.2	△749
中部	2,358	8.2	2,742	7.8	△384
新潟県	654	2.3	823	2.3	△169
近畿	914	3.2	1,013	2.9	△99
中国・四国	415	1.4	475	1.3	△60
九州・沖縄	578	2.0	577	1.6	1
外国	2,417	8.4	2,827	8.0	△410

(単位:人、%)

(注) 「従前地不詳等」の転入者、「転出先不明等」の転出者は含まない。

図14 都道府県別転入者数(平成22年)

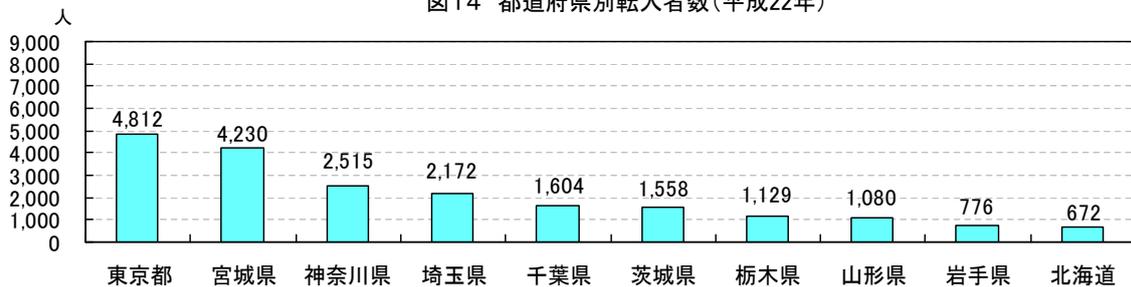
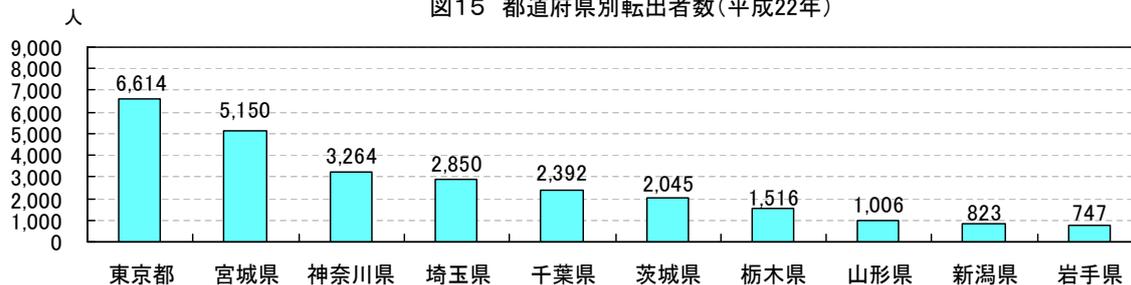


図15 都道府県別転出者数(平成22年)



(2) 方部別状況

方部別に県内の人口移動をみると、南会津、いわきを除く5方部で、方部内移動が最も多くなっている。また、方部間の移動では、県北、県南、会津、いわきで県中との移動が最も多く、県中は県北、南会津は会津との移動が最も多い。

次に県外との人口移動をみると、県南、会津、南会津、いわき方部では東京都が転入、転出とも最も多く、県北、相双では宮城県が転入、転出とも最も多い。

表18 方部別県内移動者数（平成22年）（単位：人）

従前地	転出先	計	県北管内	県中管内	県南管内	会津管内	南会津管内	相双管内	いわき管内
計		28,272	7,216	8,537	2,741	4,056	449	3,160	2,113
県北管内		7,078	3,233	1,847	220	563	63	557	595
県中管内		8,155	1,822	3,884	807	628	81	311	622
県南管内		2,767	254	804	1,407	109	14	50	129
会津管内		4,246	647	823	100	2,182	154	126	214
南会津管内		616	91	104	19	251	97	16	38
相双管内		3,280	588	333	66	110	14	1,654	515
いわき管内		2,130	581	742	122	213	26	446	—

(注) 「従前地不詳等」の転入者、「転出先不明等」の転出者は含まない。

表19 方部別県外（他都道府県、外国）転入、転出者数（平成22年）（単位：人）

方部	転出先	県計	県北管内	県中管内	県南管内	会津管内	南会津管内	相双管内	いわき管内
総数	転入 転出 転入(出)超過	28,715 35,368 △ 6,653	6,727 8,280 △ 1,553	8,571 10,271 △ 1,700	2,004 2,596 △ 592	3,069 4,210 △ 1,141	286 430 △ 144	3,003 3,368 △ 365	5,055 6,213 △ 1,158
北海道	転入 転出 転入(出)超過	672 634 △ 38	172 159 △ 13	240 218 △ 22	39 38 △ 1	45 65 △ 20	2 9 △ 7	59 45 △ 14	115 100 △ 15
東北計	転入 転出 転入(出)超過	7,148 7,847 △ 699	2,165 2,383 △ 218	2,420 2,515 △ 95	252 295 △ 43	572 630 △ 58	47 44 △ 3	815 988 △ 173	877 992 △ 115
青森県	転入 転出 転入(出)超過	577 498 △ 79	163 165 △ 2	190 171 △ 19	38 24 △ 14	33 29 △ 4	2 2 △ 0	67 42 △ 25	84 65 △ 19
岩手県	転入 転出 転入(出)超過	776 747 △ 29	207 233 △ 26	299 279 △ 20	37 34 △ 3	64 54 △ 10	8 2 △ 6	63 45 △ 18	98 100 △ 2
宮城県	転入 転出 転入(出)超過	② 4,230 ② 5,150 △ 920	① 1,279 ① 1,517 △ 238	① 1,393 ② 1,551 △ 158	128 173 △ 45	② 343 ③ 429 △ 86	④ 28 ⑤ 32 △ 4	① 554 ① 810 △ 256	④ 505 ④ 638 △ 133
秋田県	転入 転出 転入(出)超過	485 446 △ 39	144 123 △ 21	161 162 △ 1	18 17 △ 1	22 30 △ 8	1 5 △ 4	52 25 △ 27	87 84 △ 3
山形県	転入 転出 転入(出)超過	1,080 1,006 △ 74	372 345 △ 27	377 352 △ 25	31 47 △ 16	110 88 △ 22	8 3 △ 5	79 66 △ 13	103 105 △ 2
関東計	転入 転出 転入(出)超過	14,213 19,253 △ 5,040	2,767 3,944 △ 1,177	3,987 5,241 △ 1,254	1,238 1,628 △ 390	1,690 2,577 △ 887	186 311 △ 125	1,474 1,665 △ 191	2,871 3,887 △ 1,016
茨城県	転入 転出 転入(出)超過	1,558 2,045 △ 487	224 315 △ 91	296 362 △ 66	127 156 △ 29	94 132 △ 38	5 19 △ 14	158 191 △ 33	② 654 ② 870 △ 216
栃木県	転入 転出 転入(出)超過	1,129 1,516 △ 387	192 269 △ 77	423 526 △ 103	⑤ 199 ③ 279 △ 80	119 183 △ 64	⑤ 21 ② 54 △ 33	58 69 △ 11	117 136 △ 19
群馬県	転入 転出 転入(出)超過	423 572 △ 149	110 166 △ 56	154 173 △ 19	32 64 △ 32	38 56 △ 18	5 6 △ 1	42 29 △ 13	42 78 △ 36
埼玉県	転入 転出 転入(出)超過	⑤ 2,172 ④ 2,850 △ 678	⑤ 437 ⑤ 604 △ 167	③ 705 ③ 919 △ 214	③ 201 ④ 255 △ 54	④ 286 ④ 390 △ 104	② 37 ③ 52 △ 15	184 215 △ 31	322 415 △ 93
千葉県	転入 転出 転入(出)超過	1,604 2,392 △ 788	292 453 △ 161	469 641 △ 172	91 155 △ 64	215 320 △ 105	14 25 △ 11	⑤ 190 ⑤ 245 △ 55	333 553 △ 220
東京都	転入 転出 転入(出)超過	① 4,812 ① 6,614 △ 1,802	② 1,042 ② 1,449 △ 407	② 1,311 ① 1,744 △ 433	① 387 ① 489 △ 102	① 631 ① 1,010 △ 379	① 70 ① 107 △ 37	② 546 ② 651 △ 105	① 825 ① 1,164 △ 339
神奈川県	転入 転出 転入(出)超過	③ 2,515 ③ 3,264 △ 749	④ 470 ④ 688 △ 218	④ 629 ④ 876 △ 247	③ 201 ⑤ 230 △ 29	③ 307 ② 486 △ 179	③ 34 ④ 48 △ 14	③ 296 ③ 265 △ 31	③ 578 ③ 671 △ 93
新潟県	転入 転出 転入(出)超過	654 823 △ 169	130 168 △ 38	178 196 △ 18	28 39 △ 11	111 190 △ 79	5 12 △ 7	93 102 △ 9	109 116 △ 7
外国	転入 転出 転入(出)超過	④ 2,417 ⑤ 2,827 △ 410	③ 662 ③ 763 △ 101	⑤ 567 ⑤ 738 △ 171	② 203 ② 291 △ 88	⑤ 285 269 △ 16	16 17 △ 1	④ 216 ③ 294 △ 78	⑤ 468 455 △ 13
その他	転入 転出 転入(出)超過	3,611 3,984 △ 373	831 863 △ 32	1,179 1,363 △ 184	244 305 △ 61	366 479 △ 113	30 37 △ 7	346 274 △ 72	615 663 △ 48

①～⑤は転入、転出が多い順の順位

(注) 「従前地不詳等」の転入者、「転出先不明等」の転出者は含まない。

(3) 市町村別状況

移動者の県内、県外割合をみると、市部においては県外移動者の割合が過半数を占めるのに対して、郡部においては県内移動者の割合が6割近くを占めている。

また、市部において移動者総数に占める県内移動者の割合が最も高いのは、本宮市で65.2%、一方、県外移動者の割合が最も高いのは、いわき市で72.6%となっている。

なお、県内移動では772人が郡部から市部へ移動しており、市部の中では福島市(386人)、郡山市(855人)、本宮市(83人)など6市で転入超過となっている。

県外移動ではすべての市及び町村計で転出超過となっている。

表20 移動者の県内、県外別割合(平成22年)

(単位:人、%)

	移動者 総数(A)	県内移動				県外移動					
		転入	転出	計(B)	割合 (B)/(A)	転入 - 転出	転入	転出	計(C)	割合 (C)/(A)	転入 - 転出
市計	93,382	20,508	19,736	40,244	43.1	772	23,883	29,255	53,138	56.9	△ 5,372
福島市	18,859	4,107	3,721	7,828	41.5	386	5,026	6,005	11,031	58.5	△ 979
会津若松市	8,206	1,992	1,968	3,960	48.3	24	1,758	2,488	4,246	51.7	△ 730
郡山市	23,203	4,953	4,098	9,051	39.0	855	6,536	7,616	14,152	61.0	△ 1,080
いわき市	15,511	2,113	2,130	4,243	27.4	△ 17	5,055	6,213	11,268	72.6	△ 1,158
白河市	4,241	1,049	1,113	2,162	51.0	△ 64	949	1,130	2,079	49.0	△ 181
須賀川市	4,622	1,456	1,379	2,835	61.3	77	813	974	1,787	38.7	△ 161
喜多方市	2,568	682	711	1,393	54.2	△ 29	508	667	1,175	45.8	△ 159
相馬市	2,553	534	507	1,041	40.8	27	649	863	1,512	59.2	△ 214
二本松市	2,975	741	950	1,691	56.8	△ 209	536	748	1,284	43.2	△ 212
田村市	1,984	484	653	1,137	57.3	△ 169	382	465	847	42.7	△ 83
南相馬市	3,694	869	944	1,813	49.1	△ 75	853	1,028	1,881	50.9	△ 175
伊達市	2,996	844	961	1,805	60.2	△ 117	536	655	1,191	39.8	△ 119
本宮市	1,970	684	601	1,285	65.2	83	282	403	685	34.8	△ 121
町村計	27,245	7,764	8,536	16,300	59.8	△ 772	4,832	6,113	10,945	40.2	△ 1,281

(注) 「従前地不詳等」の転入者、「転出先不明等」の転出者は含まない。

表21 移動者の主な従前地・転出先-13市(平成22年)

(単位:人)

市名	順位	1			2			3							
		順位	1	2	3	順位	1	2	3						
福島市	転入	宮城県	1,022	東京都	751	郡山市	719	相馬市	転入	宮城県	198	南相馬市	155	東京都	79
	転出	宮城県	1,165	東京都	1,045	郡山市	805		転出	宮城県	348	東京都	134	南相馬市	127
会津若松市	転入	東京都	323	福島市	283	会津美里町	265	二本松市	転入	福島市	256	郡山市	142	外国	100
	転出	東京都	563	郡山市	380	福島市	345		転出	福島市	297	郡山市	236	東京都	118
郡山市	転入	宮城県	1,185	東京都	948	福島市	805	田村市	転入	郡山市	210	東京都	73	外国	56
	転出	宮城県	1,301	東京都	1,263	福島市	719		転出	郡山市	357	外国	89	東京都	77
いわき市	転入	東京都	825	茨城県	654	神奈川県	578	南相馬市	転入	東京都	181	福島市	164	宮城県	161
	転出	東京都	1,164	茨城県	870	神奈川県	671		転出	宮城県	245	福島市	203	東京都	185
白河市	転入	西郷村	244	東京都	187	郡山市	128	伊達市	転入	福島市	507	東京都	100	宮城県	92
	転出	西郷村	304	東京都	250	郡山市	174		転出	福島市	598	東京都	118	宮城県	117
須賀川市	転入	郡山市	623	東京都	142	鏡石町	114	本宮市	転入	郡山市	324	二本松市	115	福島市	70
	転出	郡山市	574	東京都	173	鏡石町	131		転出	郡山市	296	東京都	77	二本松市	67
喜多方市	転入	会津若松市	236	東京都	111	郡山市	70								
	転出	会津	258	東京都	177	福島市	87								

3 年齢別移動者数

年齢別にみると、転入超過となっているのは0～4歳(9人)、50～54歳(30人)、55～59歳(89人)、60～64歳(270人)、65～69歳(129人)、70～74歳(6人)のみで、他はすべての年齢階級で転出超過となっている。

特に20～24歳(△2,679人)、15～19歳(△2,651人)において転出超過が大きく、これらの年齢階級で、全転出超過の約80%を占めている。

図16 年齢別県外移動者数(平成22年)

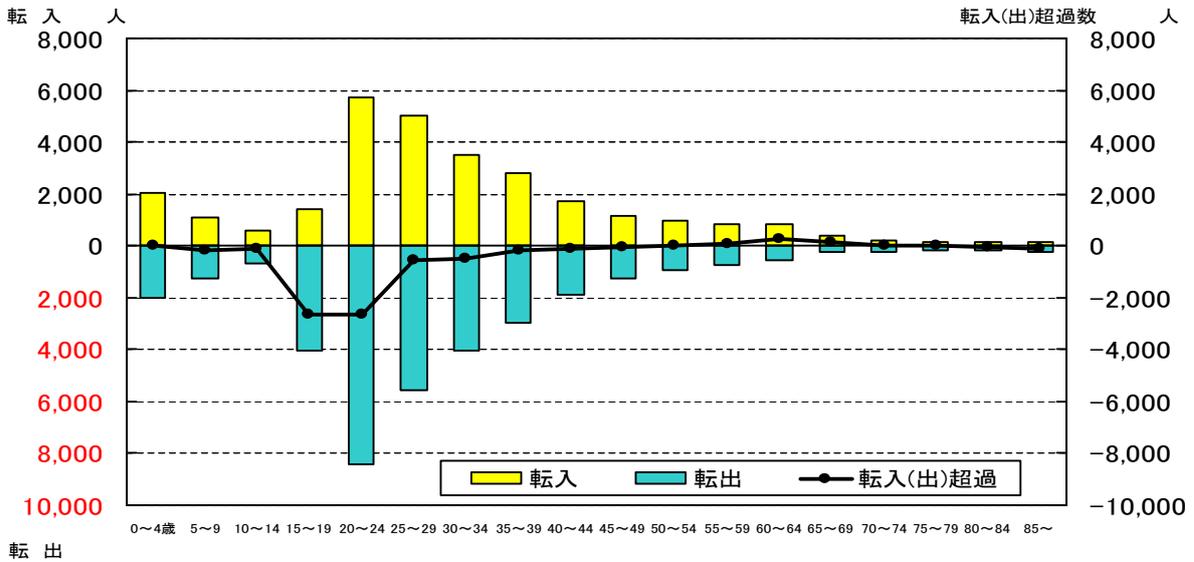


表22 年齢階級別移動者数(平成22年)

年	区分	移動者総数			県内移動者 1)			県外移動者 2)								
		総数	(男)	(女)	総数	(男)	(女)	転入	(男)	(女)	転出	(男)	(女)	転入(出)超過	(男)	(女)
22年	総数	92,355	48,845	43,510	28,272	14,236	14,036	28,715	16,051	12,664	35,368	18,558	16,810	△6,653	△2,507	△4,146
	0～4歳	6,814	3,485	3,329	2,723	1,410	1,313	2,050	1,053	997	2,041	1,022	1,019	9	31	△22
	5～9	3,591	1,800	1,791	1,267	625	642	1,071	531	540	1,253	644	609	△182	△113	△69
	10～14	1,774	871	903	546	257	289	571	305	266	657	309	348	△86	△4	△82
	15～19	6,605	3,538	3,067	1,196	593	603	1,379	767	612	4,030	2,178	1,852	△2,651	△1,411	△1,240
	20～24	18,562	9,358	9,204	4,423	1,929	2,494	5,730	3,230	2,500	8,409	4,199	4,210	△2,679	△969	△1,710
	25～29	15,647	7,658	7,989	5,057	2,215	2,842	5,016	2,651	2,365	5,574	2,792	2,782	△558	△141	△417
	30～34	11,400	5,860	5,540	3,866	1,953	1,913	3,523	1,900	1,623	4,011	2,007	2,004	△488	△107	△381
	35～39	8,317	4,580	3,737	2,548	1,398	1,150	2,789	1,550	1,239	2,980	1,632	1,348	△191	△82	△109
	40～44	5,099	3,164	1,935	1,512	892	620	1,722	1,106	616	1,865	1,166	699	△143	△60	△83
	45～49	3,702	2,435	1,267	1,291	827	464	1,174	802	372	1,237	806	431	△63	△4	△59
	50～54	3,033	2,054	979	1,145	770	375	959	667	292	929	617	312	30	50	△20
	55～59	2,470	1,545	925	913	598	315	823	499	324	734	448	286	89	51	38
	60～64	1,863	1,182	681	487	295	192	823	537	286	553	350	203	270	187	83
	65～69	892	469	423	257	134	123	382	209	173	253	126	127	129	83	46
	70～74	626	289	337	178	78	100	227	111	116	221	100	121	6	11	△5
75～79	509	192	317	181	78	103	162	60	102	166	54	112	△4	6	△10	
80～84	597	166	431	243	82	161	153	33	120	201	51	150	△48	△18	△30	
85～	854	199	655	439	102	337	161	40	121	254	57	197	△93	△17	△76	
21年	総数	97,416	52,329	45,087	29,227	14,834	14,393	30,098	16,943	13,155	38,091	20,552	17,539	△7,993	△3,609	△4,384
20年		99,837	53,093	46,744	29,967	15,045	14,922	30,987	17,125	13,862	38,883	20,923	17,960	△7,896	△3,798	△4,098
19年		103,157	54,769	48,388	30,908	15,569	15,339	32,049	17,592	14,457	40,200	21,608	18,592	△8,151	△4,016	△4,135
18年		106,153	56,090	50,063	32,802	16,481	16,321	32,753	17,984	14,769	40,598	21,625	18,973	△7,845	△3,641	△4,204

1) 統計表の「社会動態」の「転入」・「転出」の「県内」移動者数 2) 統計表の「社会動態」の「その他」は含まない。

第4 最近10年の人口の推移

最近10年の推移をみると、県全体の人口は減少が続いており、平成13年と22年を比較すると、4.5%の減少となっている。

内訳をみると、市部、郡部ともに毎年減少が続いている。

人口が増加しているのは、中通りの都市部地域の市町村などで、対照的に会津、阿武隈地域の町村では大幅な減少となっている。

平成13年と22年を比較すると、54市町村で人口が減少しており、うち21町村では10%以上減少している。

＜ 表23の見方 ＞

表の右の折れ線グラフは、平成13年の人口を基準値として、平成22年まで毎年の人口の推移を表したものである。
 グラフの増減割合の表示は、増減とも20%が上限であり、20%以上の大幅な増減があった場合は表示されない。

表23 市町村人口の推移（平成13年～22年、各年10月1日現在）

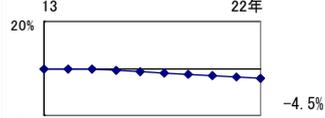
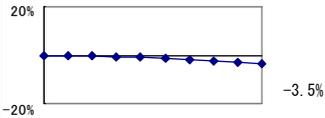
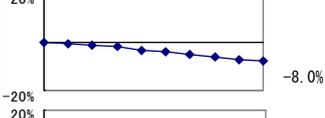
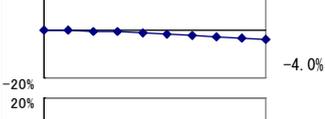
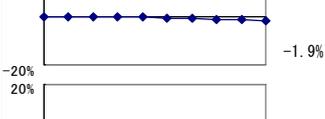
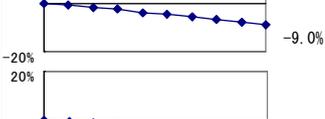
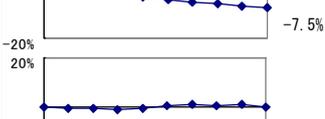
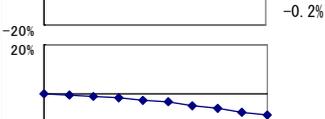
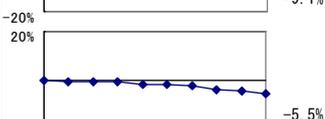
年	平成13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	平成13年からの人口の推移
市町村											
県計	2,124,404	2,119,382	2,112,489	2,104,850	2,091,319	2,080,186	2,068,352	2,055,496	2,042,816	2,029,064	
市部	1,660,913	1,658,944	1,655,196	1,650,804	1,643,093	1,636,312	1,629,309	1,621,132	1,613,080	1,602,602	
郡部	463,491	460,438	457,293	454,046	448,226	443,874	439,043	434,364	429,736	426,462	
県北管内	517,828	516,028	514,230	512,479	510,792	508,349	505,531	502,500	500,340	497,059	
福島市	298,319	297,878	297,587	297,180	297,357	296,483	295,695	294,480	294,191	292,590	
二本松市	65,769	65,354	64,681	64,166	63,178	62,612	61,833	61,137	60,437	59,871	
伊達市	71,395	70,885	70,481	69,931	69,289	68,406	67,643	67,129	66,456	66,027	
本宮市	31,558	31,367	31,254	31,170	31,367	31,647	31,737	31,711	31,757	31,489	
伊達郡計	42,358	42,082	41,796	41,620	41,137	40,735	40,203	39,587	39,043	38,508	
桑折町	13,597	13,553	13,559	13,525	13,411	13,351	13,290	13,107	12,991	12,853	

表 2 3 市町村人口の推移（平成13年～22年、各年10月1日現在）

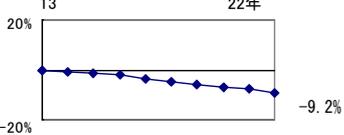
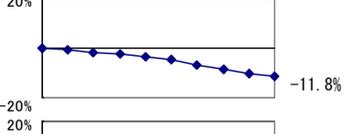
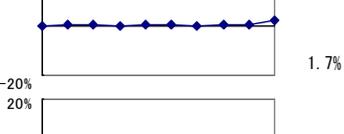
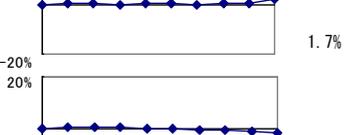
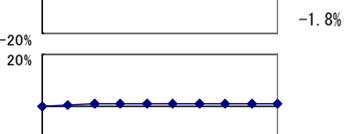
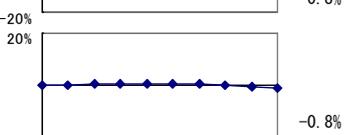
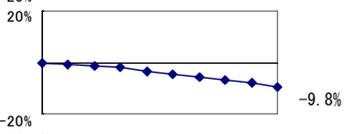
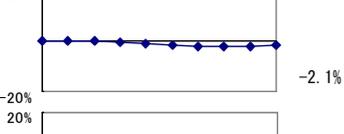
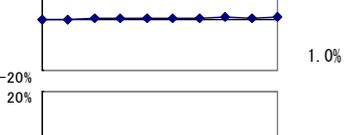
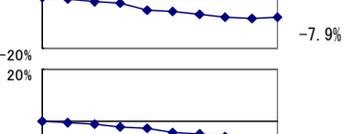
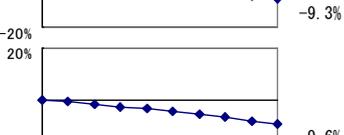
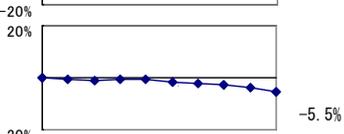
市町村	年	平成13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	平成13年からの人口の推移
国見町		11,111	11,024	10,928	10,867	10,692	10,577	10,482	10,341	10,242	10,086	 -9.2%
川俣町		17,650	17,505	17,309	17,228	17,034	16,807	16,431	16,139	15,810	15,569	 -11.8%
安達郡計		8,429	8,462	8,431	8,412	8,464	8,466	8,420	8,456	8,456	8,574	 1.7%
大玉村		8,429	8,462	8,431	8,412	8,464	8,466	8,420	8,456	8,456	8,574	 1.7%
県中管内		562,108	562,640	562,676	562,762	560,826	559,691	558,249	556,362	554,223	551,745	 -1.8%
郡山市		336,044	337,678	338,289	339,248	338,834	339,071	339,157	339,196	338,835	338,712	 0.8%
須賀川市		79,937	79,946	80,211	80,335	80,364	80,444	80,324	79,844	79,653	79,267	 -0.8%
田村市		44,809	44,494	44,243	43,941	43,253	42,743	42,351	41,809	41,297	40,422	 -9.8%
岩瀬郡計		19,517	19,411	19,415	19,376	19,232	19,174	19,063	19,056	19,006	19,106	 -2.1%
鏡石町		12,683	12,627	12,698	12,700	12,746	12,742	12,707	12,755	12,740	12,815	 1.0%
天栄村		6,834	6,784	6,717	6,676	6,486	6,432	6,356	6,301	6,266	6,291	 -7.9%
石川郡計		49,423	49,033	48,651	48,278	47,844	47,255	46,715	46,177	45,593	44,845	 -9.3%
石川町		19,666	19,508	19,322	19,076	18,921	18,778	18,578	18,336	18,034	17,775	 -9.6%
玉川村		7,649	7,588	7,567	7,601	7,602	7,534	7,501	7,445	7,362	7,231	 -5.5%

表 2 3 市町村人口の推移（平成13年～22年、各年10月1日現在）

年	平成13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
平田村	7,894	7,837	7,810	7,728	7,538	7,343	7,245	7,182	7,076	6,921
浅川町	7,401	7,379	7,307	7,306	7,272	7,182	7,077	7,022	6,982	6,888
古殿町	6,813	6,721	6,645	6,567	6,511	6,418	6,314	6,192	6,139	6,030
田村郡計	32,378	32,078	31,867	31,584	31,299	31,004	30,639	30,280	29,839	29,393
三春町	19,910	19,719	19,621	19,418	19,194	19,003	18,826	18,617	18,431	18,191
小野町	12,468	12,359	12,246	12,166	12,105	12,001	11,813	11,663	11,408	11,202
県南管内	155,277	155,307	155,187	154,563	153,347	153,132	152,517	151,763	150,762	150,117
白河市	66,380	66,517	66,630	66,119	65,707	65,763	65,689	65,516	65,027	64,704
西白河郡計	49,852	50,048	50,255	50,414	50,164	50,332	50,314	50,255	50,042	50,130
西郷村	18,807	18,977	19,233	19,380	19,494	19,661	19,706	19,804	19,811	19,767
泉崎村	6,853	6,882	6,874	6,874	6,761	6,734	6,702	6,641	6,603	6,802
中島村	5,276	5,320	5,302	5,313	5,174	5,140	5,145	5,094	5,046	5,154
矢吹町	18,916	18,869	18,846	18,847	18,735	18,797	18,761	18,716	18,582	18,407
東白川郡計	39,045	38,742	38,302	38,030	37,476	37,037	36,514	35,992	35,693	35,283

平成13年からの人口の推移

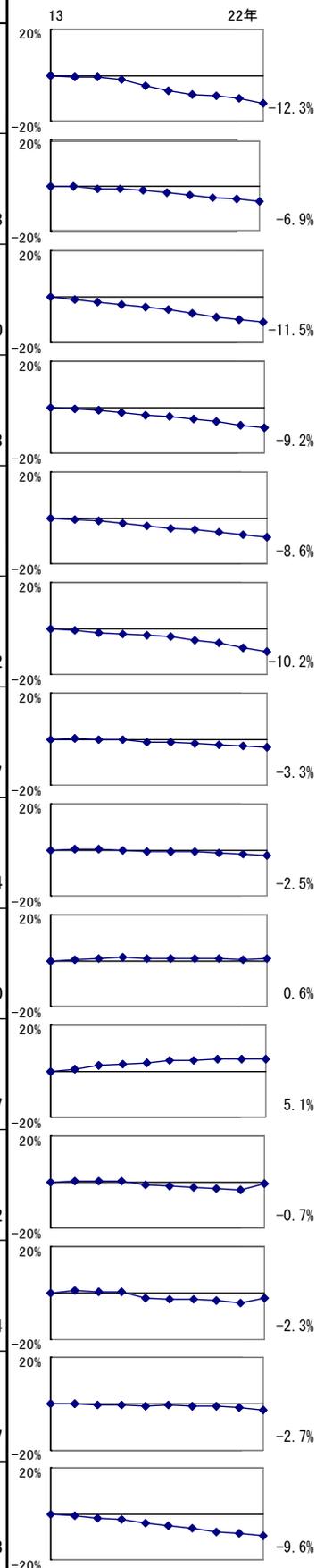


表 2 3 市町村人口の推移（平成13年～22年、各年10月1日現在）

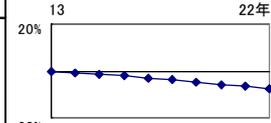
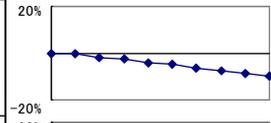
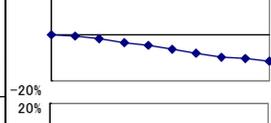
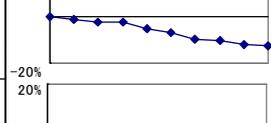
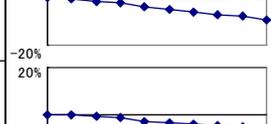
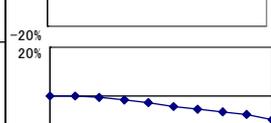
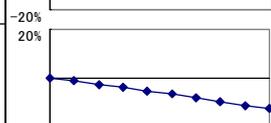
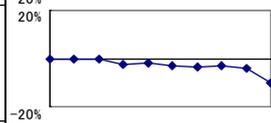
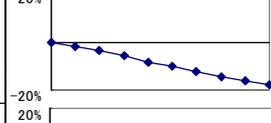
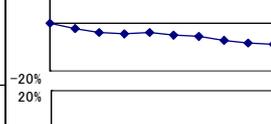
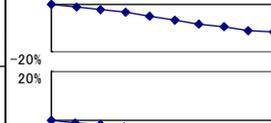
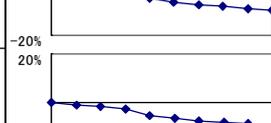
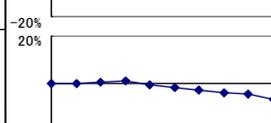
年	平成13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	平成13年からの人口の推移
市町村											
棚倉町	16,273	16,173	15,998	15,948	15,795	15,633	15,531	15,356	15,231	15,062	 -7.4%
矢祭町	7,032	7,007	6,907	6,841	6,740	6,714	6,588	6,493	6,424	6,348	 -9.7%
塙町	11,174	11,069	10,934	10,789	10,619	10,454	10,274	10,065	10,022	9,884	 -11.5%
鮫川村	4,566	4,493	4,463	4,452	4,322	4,236	4,121	4,078	4,016	3,989	 -12.6%
会津管内	288,958	286,866	284,687	282,214	278,018	274,649	271,634	268,823	265,946	262,051	 -9.3%
会津若松市	135,216	134,560	133,721	132,976	131,389	130,349	129,441	128,591	127,759	126,220	 -6.7%
喜多方市	58,201	57,922	57,652	57,096	56,396	55,547	54,817	54,142	53,468	52,356	 -10.0%
耶麻郡計	34,596	34,143	33,637	33,157	32,672	32,159	31,606	31,123	30,598	30,117	 -12.9%
北塩原村	3,545	3,541	3,526	3,464	3,475	3,429	3,412	3,437	3,391	3,185	 -10.2%
西会津町	8,977	8,828	8,663	8,484	8,237	8,064	7,861	7,685	7,521	7,366	 -17.9%
磐梯町	4,128	4,032	3,965	3,935	3,951	3,917	3,897	3,825	3,788	3,761	 -8.9%
猪苗代町	17,946	17,742	17,483	17,274	17,009	16,749	16,436	16,176	15,898	15,805	 -11.9%
河沼郡計	27,472	27,174	27,006	26,753	26,104	25,738	25,416	25,208	24,893	24,733	 -10.0%
会津坂下町	19,274	19,054	18,918	18,710	18,274	18,046	17,843	17,741	17,563	17,360	 -9.9%
湯川村	3,608	3,590	3,611	3,633	3,570	3,546	3,505	3,461	3,429	3,364	 -6.8%

表 2 3 市町村人口の推移（平成13年～22年、各年10月1日現在）

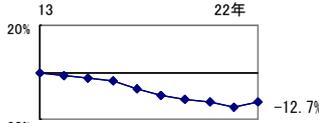
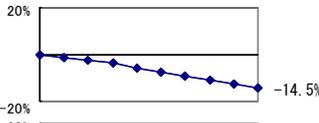
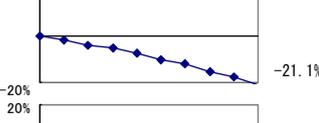
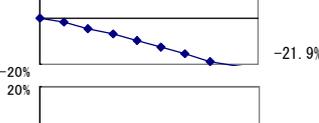
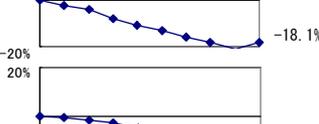
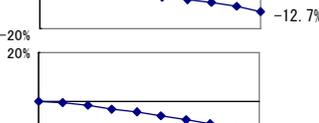
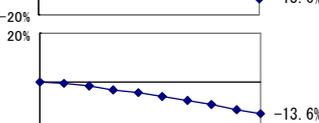
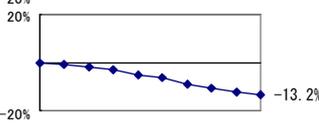
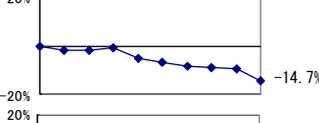
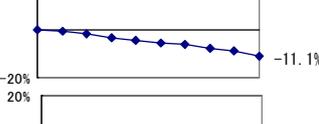
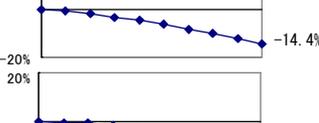
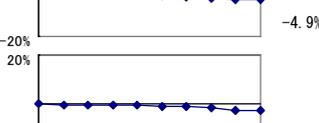
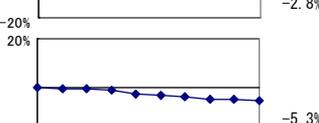
年	平成 13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	平成13年からの人口の推移
市町村											
柳津町	4,590	4,530	4,477	4,410	4,260	4,146	4,068	4,006	3,901	4,009	 -12.7%
大沼郡計	33,473	33,067	32,671	32,232	31,457	30,856	30,354	29,759	29,228	28,625	 -14.5%
三島町	2,441	2,395	2,344	2,313	2,250	2,190	2,140	2,066	2,009	1,926	 -21.1%
金山町	3,153	3,084	3,010	2,935	2,834	2,760	2,664	2,561	2,501	2,462	 -21.9%
昭和村	1,832	1,787	1,752	1,681	1,632	1,585	1,539	1,497	1,447	1,500	 -18.1%
会津美里町	26,047	25,801	25,565	25,303	24,741	24,321	24,011	23,635	23,271	22,737	 -12.7%
南会津管内	34,614	34,259	33,894	33,436	32,913	32,420	31,773	31,236	30,599	29,893	 -13.6%
南会津郡計	34,614	34,259	33,894	33,436	32,913	32,420	31,773	31,236	30,599	29,893	 -13.6%
下郷町	7,442	7,368	7,285	7,211	7,053	6,963	6,783	6,656	6,525	6,461	 -13.2%
檜枝岐村	746	733	731	740	706	694	682	677	674	636	 -14.7%
只見町	5,545	5,493	5,443	5,339	5,284	5,232	5,185	5,114	5,038	4,932	 -11.1%
南会津町	20,881	20,665	20,435	20,146	19,870	19,531	19,123	18,789	18,362	17,864	 -14.4%
相双管内	206,037	205,197	204,397	203,231	200,931	199,585	198,390	196,833	195,636	195,950	 -4.9%
相馬市	38,894	38,735	38,750	38,624	38,630	38,523	38,548	38,302	37,919	37,817	 -2.8%
南相馬市	74,809	74,523	74,279	73,853	72,837	72,364	71,816	71,296	70,971	70,878	 -5.3%

表 2 3 市町村人口の推移（平成13年～22年、各年10月1日現在）

年	平成 13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	平成13年からの人口の推移
市町村											13 22年
双葉郡計	76,335	76,008	75,559	75,101	74,158	73,633	73,150	72,594	72,251	72,822	-4.6%
広野町	5,845	5,797	5,691	5,581	5,533	5,493	5,490	5,424	5,383	5,418	-7.3%
楡葉町	8,360	8,327	8,257	8,208	8,188	8,054	7,975	7,887	7,847	7,700	-7.9%
富岡町	16,232	16,230	16,150	16,091	15,910	15,897	15,849	15,769	15,755	16,001	-1.4%
川内村	3,338	3,266	3,259	3,165	3,125	3,081	3,049	3,000	2,915	2,820	-15.5%
大熊町	10,847	10,824	10,865	10,995	10,992	11,044	11,101	11,122	11,264	11,515	6.2%
双葉町	7,544	7,486	7,446	7,381	7,170	7,095	7,030	6,981	6,917	6,932	-8.1%
浪江町	22,482	22,400	22,224	22,053	21,615	21,368	21,101	20,895	20,686	20,905	-7.0%
葛尾村	1,687	1,678	1,667	1,627	1,625	1,601	1,555	1,516	1,484	1,531	-9.2%
相馬郡計	15,999	15,931	15,809	15,653	15,306	15,065	14,876	14,641	14,495	14,433	-9.8%
新地町	8,987	8,970	8,908	8,822	8,584	8,499	8,436	8,362	8,306	8,224	-8.5%
飯館村	7,012	6,961	6,901	6,831	6,722	6,566	6,440	6,279	6,189	6,209	-11.5%
いわき管内	359,582	359,085	357,418	356,165	354,492	352,360	350,258	347,979	345,310	342,249	-4.8%
いわき市	359,582	359,085	357,418	356,165	354,492	352,360	350,258	347,979	345,310	342,249	-4.8%

【お願い】

本書から抜粋又は新たに資料を作成して利用する場合は、
「**福島県企画調整部統計調査課編「福島県の推計人口」から
抜粋（又は作成）**」と記入してください。

「福島県の推計人口」は、インターネットでも提供しています。

ホームページ 「ふくしま統計情報BOX」

アドレス [http://wwwcms.pref.fukushima.jp/pcp_portal/
contents?CONTENTS_ID=15832](http://wwwcms.pref.fukushima.jp/pcp_portal/contents?CONTENTS_ID=15832)

福島県の推計人口（平成22年版）
平成24年1月発行

編集・発行

福島県 企画調整部 統計調査課

〒960-8670 福島市杉妻町2番16号

電話024(521)7145